すべての活動は、災害時の情報のために

特定非営利活動法人

愛知ネット 活動記録 ２０１６

特定非営利活動法人
愛知ネット
Non-Profit Organization Aichi Net

すべての活動は、
災害時の
情報のために。

愛知ネットは、ホームページでボランティアへ呼びかけるとともに、
被災状況など必要な情報を逐次流してきました。
そこで痛感したのは、日ごろからの人と人の「つながり」と、
いざとなったときの「情報システム」の構築の必要性。
「防災・災害救援」、「社会教育」、「まちづくり」、「市民活動支援」の4つからなる活動は、
被災地で愛知ネットが活動した時の「教訓」が生きています。

■防災･災害救援

Active in disaster & Preparedness

東日本大震災・熊本地震の発生、南海トラフ巨大地震の被害想定報告をうけて、愛知ネットに対する地域からの防災活動に関するニーズが、一層増えてきました。この状況に際して愛知ネットは、地域単位での講座や講演等と共に、これまで行ってきた各種の啓発・訓練を統合し、地域に有用であり実効性のある事業を実施しました。具体的には防災会議や啓発イベント、安否確認システムの普及のための活動、愛知ネットスタッフの防災意識向上とスキル強化のための会議がそれにあたります。

●防災活動

1. 啓蒙･啓発活動

Ⅰ. 実施概要

愛知県内外の市町村並びに、各団体・組織が主催する訓練・会議・委員会などに参画する。そして情報交換、意見交換を行いながら、地域防災力の向上に寄与する。

Ⅱ. 目標･計画と実績

防災訓練・会議・委員会に参画し、他団体や地域とのネットワークを広げ、災害時の支援体制を強化することを目標とする

●従業員の人数
4 名(天野、南里、内藤、松永)

●受益対象者の範囲および人数
愛知県・熊本県など 20 万人

■第一四半期

Ⅲ. 実施したイベント

１．西尾市における活動

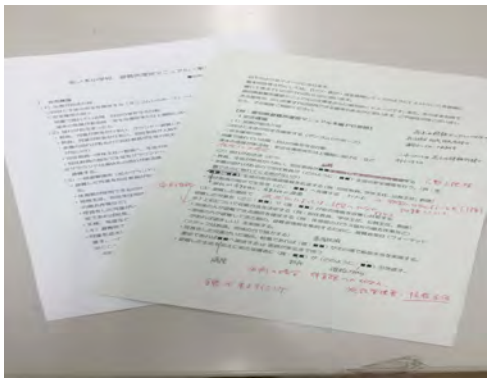
西尾中学校区における防災事業

日　時：2016 年 5 月 19 日（木）10:00 ～12:00
2016 年 5 月 25 日（水）15:00 ～17:00
2016 年 6 月 21 日（火）10:00 ～12:00

場　所：西尾小学校、花の木小学校

担当者：内藤・南里

内　容：各校の災害時における後方支援拠点としての機能や動きの整理、避難所運営マニュアル作成を進めている。災害発生時の初動期における動きについて地域情報をふまえ検討している。



２．名古屋市における活動

平成 28 年度 みずほ自治会講演会

日　時：2016 年 6 月 9 日（木）17:30～18:30

場　所：ホテルグランコート名古屋

担当者：南里

内　容：企業や行政組織等から構成されるみずほ自治会において、南海トラフ巨大地震への備えについて過去の被災地からの学びをもとに講演した。

３．豊田市における活動

①とよた防災フェスタ実行委員会

②豊田市美和町自治区防災訓練内容の相談

③豊田市自主防災会リーダー養成講座

日　時：①2016 年 5 月 15 日（日）　9:30 ～16:30
　　②2016 年 6 月 11 日（土）　9:30 ～11:00
　　③2016 年 7 月　9 日（土）9:30 ～16:30

場　所：①スカイホール豊田
　　②愛知ネット事務所
　　③豊田市消防本部

担当者：南里・内藤

内　容：①別紙による
　　②自主防災リーダー養成講座受講者である、自治区防災隊長より、自治区の防災訓練について相談があった。楽しみながら学ぶ手法を提案した。
　　③自主防災会のリーダーを養成するため、防災科学技術研究所、星崎学区連絡協議会から講師を招聘し実施した。

４．知立市における活動

①知立市自主防災会連絡協議会 幹事会

②平成 28 年度 知立市自主防災会連絡協議会 総会

日　時：2016 年 6 月　1 日（水）14:00 ～16:00
　　2016 年 6 月 22 日（水）18:30 ～20:00

場　所：知立市役所、知立市中央公民館

担当者：南里

内　容：①協議会幹事に対し、27 年度の自主防災活動サポート事業の報告、協議会規約や連絡協会議の委員についての協議、28 年度事業についての提案した。
　　②27 年度事業の報告、熊本地震被災地に対する災害救援活動報告をした。

５．刈谷市における活動

安心・快適なまち・さくら創造事業パートⅢ

日　時：2016 年 6 月 2 日（木）10：00 ～14：00
　　2016 年 7 月 2 日（土）11：00 ～14：00

場　所：桜区市民館・まちづくりかりや事務所
　　刈谷市民ボランティア活動センター

担当者：南里・内藤

内 容:マップを活用したウォークラリーを実施のため、打合せや下見等を実施している。地域の NPO 等と協働でまちづくりや福祉の視点を盛り込んだ内容とする。

６．稲沢市における活動

平成 28 年度 松下自主防災会 役員・組長研修会
日　時：2016 年 6 月 11 日（土）13:30～15:30
場　所：稲沢市 松下公民館
担当者：南里
内　容：防災リーダー養成講座の受講者からの問合せがあり、東日本大震災等の被災地の様子をふまえ、いざという時のための防災を講演した。

７．安城市における活動

桜井高齢者教室における講演
日　時：2016 年 6 月 23 日（木）9：30～11：30
場　所：安城市 桜井公民館
担当者：南里
内　容：桜井公民館が毎年実施する高齢者教室において、防災分野の講義として講演をした。『災害の時こそ問われる地域力』として、自助と共助の視点を盛り込んだ講演をした。

８．愛知県域における活動

平成 28 年度第 1 回防災のための愛知県ボランティア連絡会
日　時：2016 年 6 月 30 日（木）10:30 ～12:00
場　所：愛知県自治センター
担当者：南里
内　容：平成 28 年度事業（防災＆ボランティアフォーラム、広域ボランティア支援本部訓練）を協議した。熊本地震に対する救援活動報告をすると同時に、出席団体の活動報告をきいた。

９．1 億総レスキュー会議

日　時：2016 年 5 月 13 日(金) 10:00 ～12:00
2016 年 6 月 10 日(金) 10:00 ～12:00
2016 年 7 月 8 日（金）10:00 ～12:00
場　所：愛知ネット事務所　他
担当者：南里・内藤・小林(慎)(事務局)
上田・河合・高山・長坂・西谷・松原・米山
内　容:各センターの防災イベント、防災事業の情報共有、防災意識啓発ツールの手順習得等行った。

■第二四半期

Ⅲ. 実施したイベント

１．西尾市における活動

西尾中学校区における防災事業

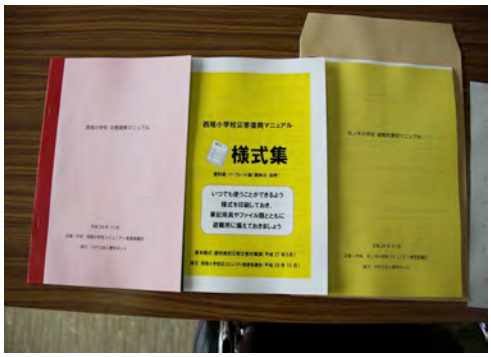
日　時：2016 年 7 月 21 日　（木）10:00 ～12:00
2016 年 7 月 27 日　（水）10:00 ～12:00
2016 年 8 月 10 日　（水）10:00 ～12:00
2016 年 8 月 19 日　（金）10:00 ～12:00
2016 年 9 月　5 日（月）13:00 ～15:00
2016 年 10 月 3 日　（月）10:00 ～12:00
2016 年 10 月 3 日　（月）15:00 ～16:00
2016 年 10 月 23 日（日）10:00 ～11:00

場　所：西尾小学校、花の木小学校

担当者：内藤・天野

協力者：牧野理事

内　容：各校の地震発生時における、学校と地域とが連携した後方支援拠点としての機能や動きの整理や、避難所運営をする際のマニュアルを、愛知県や西尾市のマニュアルをベースとして作成した。作成結果は、10 月 23 日にプレスリリースを行い、校区住民へ広く知らせる。



２．知立市における活動

①平成 28 年度 第 1 回知立市防災会議

②平成 28 年度 知立市自主防災会連絡協議会 臨時会

③平成 28 年度 新任者防災研修

④平成 28 年度 知立市総合防災訓練

日　時：①2016 年 7 月 22 日（水）14:00 ～16:00
②2016 年 6 月 22 日（水）18:30 ～20:00
③2016 年 8 月 3 日（水）10:50 ～12:00
④2016 年 8 月 28 日（日） 9:00 ～12:00

場　所：①②③知立市役所、知立市中央公民館
④知立西小学校 他

担当者：①②南里
③小林・松原・横山
④松原

内　容：①平成 28 年度知立市防災訓練内容を協議した。
②上記防災訓練内容の確認の他、市民運動会における防災協議の提案内容を協議した。
③今年度も市内小中学校新入職員の方を対象に、なまずの学校を利用した研修を実施した。

④ブースでの傷シールおよび応急体験等を通じ、広く一般市民に防災意識啓発をした。

３．豊田市における活動

①とよた防災フェスタ実行委員会

②とよた消防フェスタ実行委員会

③平成 28 年度 豊田市市民防災総合演習

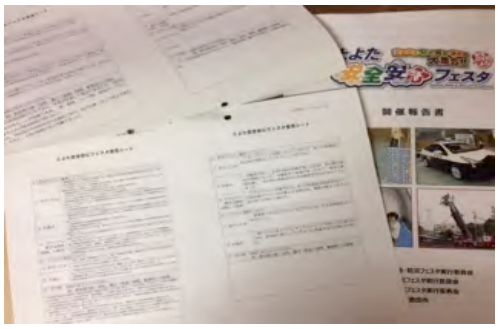
日　時：①2016 年 7 月 19 日（火） 13:00 ～14:00
②2016 年 7 月 22 日（金） 16:00 ～17:00
③2016 年 10 月 22 日（土）10:00 ～13:00

場　所：豊田市役所、豊田市消防本部

担当者：①②南里・内藤
③大野

協力者：高桑理事

内　容：①②両フェスタ共に、公民協働による実行委員会で、5 月に実施のフェスタの成果や課題を共有した。
③足助中学校文化祭のタイミングで、同中学校を会場に実施。災害時に地域の共助で力を発揮することが期待される中学生に対し、防災啓発をした。



４．刈谷市における活動

①安心・快適なまち・さくら創造事業パートⅢ

②平成 28 年度 刈谷市総合防災訓練のための協議

③ラルあゆみ防災事業のための打合せ

日　時：①2016 年 10 月 2 日（日）10:00 ～14:00
2016 年 10 月 8 日（土） 8:30 ～13:00
②2016 年 9 月 12 日 （月）13:30 ～15:30
2016 年 10 月 4 日 （火）15:30 ～17:00
2016 年 10 月 13 日（木）13:30 ～15:00
2016 年 10 月 26 日（水）14:00 ～15:30
③2016 年 8 月 24 日（水）18:30 ～20:00

場　所：①桜区内・まちづくりかりや事務所
②刈谷市役所
③刈谷市民ボランティア活動センター

担当者：南里・内藤・小野・加藤(智)・加藤（賀）西谷・米山

内　容：①桜区では、マップを活用したウォークラリーを実施した。まちづくりかりや等と協働し、WAFCA やラルあゆみのご協力を得て、アイマスクや車いす体験区間を設け、福祉の視点を盛り込み実施。防災訓練時には熊本支援活動の報告と自治会役員を対象に HUG 体験実施。

②11 月 13 日に実施予定であり、課題発見型の訓練内容について協議を重ねている。

③2017 年 1 月に防災事業を実施予定で、赤十字奉仕団や刈谷防災ボランティア等と共に、内容を協議中。

５．安城市における活動

コープ野村防災研修会

日　時：①2016 年 8 月　19 日（金）　19:30 ～21:00
　　②2016 年 10 月 18 日（火）　19:00 ～20:30
場　所：豊田市役所、豊田市消防本部
担当者：南里・内藤
内　容：防災委員会や福祉委員会の役員に対し、被災地や避難所の状況を説明後、HUG や参加者自身の日常から備えを考える話し合いを実施した。

６．岡崎市における活動

岡崎市災害ボランティアセンター設置運営訓練

日　時：2016 年 10 月 23 日（日）8:30 ～ 16:00
場　所:岡崎市福祉会館
担当者：南里・長坂
内　容：コーディネータ派遣返答と、ボランティアセンター設置運営訓練時には受付担当に参加した。

７．愛知県域における活動

平成 28 年度 愛知県広域ボランティア支援本部設置訓練

日　時：2016 年 8 月 28 日（日）9:00 ～12:00
場　所：愛知県 東大手庁舎
担当者：南里
内　容：情報担当として、アマチュア無線等から寄せられる情報を、地図上に集約した。

８．1 億総レスキュー会議

日　時：2016 年　8 月　9 日(金) 10:00 ～12:00
　　2016 年　9 月　9 日(金) 10:00 ～12:00
　　2016 年 10 月 14 日(金) 10:00 ～12:00
場　所：愛知ネット事務所　他
担当者：上田・小林・内藤・南里・西谷・村松
内　容：熊本被災地支援活動情報共有の他、各センターの防災イベント、防災事業の情報共有、防災意識啓発ツールの手順習得等行った。

■第三四半期

Ⅲ. 実施したイベント

１．豊明市における活動

星城高校地区父母の会 講演

日　時：2016 年 10 月 29 日　（土）10:00 ～12:00
場　所：星城高校
担当者：南里
内　容：東日本大震災や熊本地震の被災地や避難所の様子、愛知県の被害想定等を説明した。その後、参加者を地域ごとに分け、災害時に問題になりうることや地域の特徴を洗い出しし、これからの防災を考えるワークショップを行った。

２．刈谷市における活動

①平成 28 年度 刈谷市総合防災訓練・協議
②桜区ウォーキング・クイズ・ラリー反省会
③NPO 法人 ラルあゆみ防災事業のための打合せ

日　時：①2016 年 11 月 2 日（水）13:30 ～15:30
2016 年 11 月 13 日（日） 8:00 ～12:00
②2016 年 11 月 9 日（水）17:30 ～19:00
③2016 年 11 月 19 日（土）18:30 ～20:00
場　所：①刈谷市役所・刈谷市双葉小学校
②刈谷市 桜区市民館
③刈谷市民ボランティア活動センター
担当者：①南里・内藤・稲生・織田・加藤(智)・加藤（賀）小林(慎)・米田・西谷
②南里・内藤
③南里・牧野
内　容：①10 月 8 日（土）に実施したウォークラリーの反省会へ参加。ウォークラリーのマップは、過去 2 年間で作成した防災マップがベースとなっている。アイマスクや車いす体験等によって、多くの参加者の福祉的な視点の気づきに繋がった。
②避難所運営各班にわかれ、防災倉庫備品を使いながら、課題を発見する訓練を実施した。運営にあたり、刈谷防災ボランティアのご協力を得た。
③2017 年 1 月 29 日に防災事業を実施予定であり、赤十字奉仕団や刈谷防災ボランティア等と共に、内容協議中である。

３．稲沢市における活動

いなざわ地域防災リーダー養成講座

日　時：2016 年 11 月 26 日（土）9:30 ～15:30
　　2016 年 11 月 27 日（日）9:30 ～12:00
場　所：稲沢市役所 第 2・第 3 会議室
担当者：南里・内藤・横山・伊藤・上田・小林(慎)
　　西谷・松原
内　容：地域防災リーダーについて講演をした後、HUG（避難所運営ゲーム）およびその演習や地域の特徴から防災を考えるワークショップによって、リーダーを養成した。講演は他に、避難所運営について名古屋大学阪本准教授に、地域防災活動の先進事例について名古屋市星崎学区連絡協議会の早川氏に依頼をし、実施した。

４．豊田市における活動

とよた防災フェスタ実行委員会

日　時：2016 年 11 月 29 日（火）　13:30 ～14:30
　　2016 年 12 月 19 日（月）　10:00 ～11:00
場　所：豊田市役所
担当者：南里・内藤
内　容：これまでに実施したフェスタの成果や課題を共有した。今後の展開として、地域での防災訓練と連携することを検討していく。

５．知立市における活動

①知立市自主防災会 リーダー研修

②平成 28 年度 新任者防災研修

日　時：①2016 年 12 月 10 日（土）9:30 ～15:00
　　②2016 年 12 月 22 日（木）
場　所：知立市中央公民館
担当者：①南里
　　②内藤・西谷
内　容：①ライフライン組織（中部電力・東邦ガス・知立市役所水道部局）より、災害時の被害想定及び復旧対応について講話をして頂いた。また家具転倒防止研修も行われ、実践的な自主防災会研修内容とした。
　　②今年度も市内小中学校新入職員の方を対象に、防災ダックを利用した研修を実施した。

６．名古屋市における活動
平成 28 年度守山区避難所リーダー研修
日　時：2016 年 12 月 10 日（土）
　　2016 年 12 月 17 日（土）
場　所：守山区役所 講堂
担当者：横山・上田・小林・内藤・西谷・南里
内　容：講義の後、HUG（避難所運営ゲーム）の体験、およびその内容をもとに参加者自身が会場を避難所にみたてた検証をし、避難所の課題や必要な備えを実感して頂く講座を実施した。1 億総レスキュー会議のメンバーを中心に、検証の際のファシリテートをしている。

７．企業における活動
①オールトヨタビックホリデー　ブース出展
②アイシン精機株式会社 災害ボランティア講座
日　時：①2016 年 10 月 23 日（日）9:00 ～15:00
　　②2016 年 11 月 19 日（土）9:00 ～12:00
場　所：①トヨタスポーツセンター
　　②アイシン精機株式会社 本社
担当者：①伊藤・織田・小林(慎)・内藤・南里・松原
　　②南里
内　容：①熊本地震被災地の被害状況を写真パネルで展示した。愛フェスや各センターイベントでのブース展開をふまえ、ファミリー層への防災意識啓発をした。発災時に役立つ牛乳パックでつくる笛、ペーパーナフキンでつくるマスクは、来場者から多くの関心を寄せられた。
　　②災害発生時に、企業社員が地域の復旧のために、災害支援ボランティアとして活動することができるよう、自助の必要性や災害支援ボランティアのあり方について、講演した。

８．京都府における活動
京都府城陽市障がい者のつどい
日　時：2016 年 12 月 4 日（日）10:15 ～11:30
場　所：京都府城陽市福祉センター
担当者：南里
内　容：阪神淡路大震災、新潟中越地震、東日本大震災や熊本地震の被災地において、障がい当事者や家族、支援者が直面した問題等について説明。日頃の備えやつながりの重要性を講演した。

９．愛知県域における活動
平成 28 年度第 2 回防災のための愛知県ボランティア連絡会
日　時：2016 年 10 月 31 日（月）14:00 ～16:00
場　所：愛知県 災害対策本部室（県自治センター6 階）
担当者：南里
内　容：防災＆ボランティアフォーラム、防災とボランティア集会シンポジウムの共催、広域ボランティア支援本部のあり方について協議した。

１０．１億総レスキュー会議
日　時：2016 年　9 月　9 日(金) 10:00 ～12:00
2016 年 10 月 14 日(金)　10:00 ～12:00
2016 年 11 月 11 日(金) 10:00 ～12:00
場　所：愛知ネット事務所　他
担当者：上田・小林・内藤・南里・西谷・村松
内　容：熊本被災地支援活動情報共有の他、各センターの防災イベント、防災事業の情報共有、防災意識啓発ツールの手順習得等行った。

■第四四半期

Ⅲ. 実施したイベント

１．平成 28 年度 みよし市防災リーダー養成講座

日　時：2017 年 1 月 14 日（土）10:00 ～16:00(基礎編)
2017 年 2 月 18 日（土）9:30 ～17:00(養成編)
場　所：みよし市役所
担当者：南里・西谷
内　容：17 名の受講者に対し、講義の後、参加者自身の一日の行動を振り返り、それぞれに必要な備えを考えるワークショップを実施。また、地域防災啓発ツールとなりえる HUG の体験を実施した(1/14)。地域における課題や特長の振り返り・それらをふまえた地域防災について検討した。その後、シナリオワークショップを実施し、災害時に発生しうる問題から考える日頃の備えについての協議をファシリテートした（2/18)。

２．西尾市における活動

（NPO 法人やらまいか人まちサポート様提供）

①西尾市防災フォーラム
②西尾市校務主任研修会
③東日本大震災七回忌追悼法要 西尾を襲う南海トラフ巨大地震への備え
日　時：①2017 年 1 月 22 日（日）13:00 ～16:00
②2017 年 2 月 8 日（水）16:00 ～17:00
③2017 年 3 月 11 日（土）16:15 ～17:00
場　所：①西尾市文化会館
②西尾市役所 51 会議室
③西尾市 康全寺
担当者：①南里
②内藤
③内藤・高柳
協力者：牧野理事
内　容：①熊本県益城町役場職員の内村氏、同消防団員の那須氏をパネリストにお招きし、熊本地震発生時の益城町の様子や避難所運営をふく

む課題について、お話しいただいた。

②市内校務主任 50 名の方に対し、避難所運営ゲームを通して、避難所での心構え、学校の役割、地域への関わり方について説明した。

③中学生 40 名、地域の方 20 名に対し、東日本大震災、熊本地震の話。南海トラフ巨大地震における愛知県、西尾市の被害想定をお伝えし、日頃から出来る備えについて説明した。

３．刈谷市における活動

NPO 法人ラルあゆみふれあい行事

日　時：2017 年 1 月 29 日（日）10:00 ～13:30

場　所：刈谷市民ボランティア活動センター

担当者：南里・牧野(清)

内　容：熊本地震被災地の様子や途中の緊急地震速報を利用したシェイクアウト訓練を行い、被災地の厳しさや備えの必要性を説明した。

４．豊田市における活動

①あの日のくまもと 今のくまもと

②防災フォローアップ講座

③とよた防災フェスタ実行委員会

日　時：①2017 年 2 月 5 日（日）13:30 ～17:00
②2017 年 2 月 19 日（日）9:00 ～12:00
③2017 年 3 月 27 日（月）11:00 ～12:00

場　所：①とよた市民活動センター
②豊田市立 竜神中学校
③豊田市役所

担当者：①②南里
③南里・内藤

協力者：高桑理事

内　容：①熊本地震被災地の様子および支援活動をはじめた経緯および活動内容について講演した。

②豊田市の防災リーダー養成講座修了者、防災啓発指導者、避難所開設担当者等に対し、訓練シナリオを用いない訓練を実施。必要な敷材や数量、繋がり等の備えについて実地検討した。

③実施したフェスタの成果や課題を共有した。今後は、イベントの形に拘らず、地域での防災訓練と連携するなどの展開を検討する。

（とよた市民活動センター様提供）

５．安城市における活動

安城市防災会議

日　時：2017 年 2 月 15 日（水）15:00 ～16:00

場　所：安城市役所 災害対策本部室

担当者：天野

内　容：地域防災計画修正についての協議と安城市地震対策アクションプラン、平成 28 年度安城市の防災への取り組みについて説明をうけた。

６．豊橋市における活動

① 豊橋市災害 VC レベルアップ講座

② もしもの時の地域の備え

日　時：①2017 年 2 月 25 日（土）13:30 ～15:45
②2017 年 3 月 4 日（土）14:00 ～15:30

場　所：①豊橋市つつじヶ丘福祉センター
②豊橋市民センター

担当者：①南里・小林・村松
②小林・南里

内　容：①市内の災害ボランティアコーディネーターに対し、熊本地震被災地の様子や課題となったことを講演すると共に、参加者自身の一日の行動およびその共有を通し、必要となる備えを具体化させるワークショップを行った。
②オレンジ・プラザ スキルアップ講座の一環として、熊本地震被災地についての講演と共に、シナリオワークショップを実施。地域の備えを考える手法体験と改めて検討する機会を作った。

７．知立市における活動

① 知立市自主防災会連絡協議会 報告会

② 知立市防災会議

日　時：①2017 年 3 月 1 日（水） 18:30 ～20:00
②2017 年 3 月 21 日（火）10:00 ～12:00

場　所：①②知立市中央公民館

担当者：南里

内　容：①今年度の自主防災会サポート事業についての報告を行った。また、先進的に活動をおこなう地域や新たな項目を加え活動を行った地域の情報共有をファシリテートし、全体へ情報共有した。

②地域防災計画修正についての協議と、平成 28 年度知立市の防災への取り組みについて説明をうけた。

８．岡崎市における活動
岡崎市災害ボランティア協定団体連絡会
日　時：2017 年 3 月 24 日（金）14:00 ～15:30
場　所：岡崎市福祉会館
担当者：南里
内　容：平成 28 年度の岡崎市における防災への取り組みと共に、各協定団体の活動情報の共有がなされた。

９．愛知県域における活動
①東日本大震災犠牲者追悼式・追悼式実行委員会
②防災のための人材育成あり方検討会（第 18 回）
③愛知県避難所運営マニュアルの見直しに係る検討会議
④第 3 回防災のための愛知県ボランティア連絡会
日　時：①2017 年 1 月 25 日（水）18:30 ～20:00
2017 年 2 月 13 日（月）19:00 ～20:30
2017 年 3 月 6 日（月）19:00 ～21:00
2017 年 3 月 11 日（土）10:00 ～19:00
2017 年 4 月 13 日（木）19:00 ～20:30
②2017 年 1 月 27 日（金） 9:30 ～10:45
③2017 年 1 月 31 日（火）13:30 ～15:30
④2017 年 3 月 9 日（木）10:00 ～12:00
場　所：①東別院会館、レスキューストックヤード久屋広場（追悼式会場）
②③④愛知県災害対策本部室
担当者：南里
内　容：①毎年 3 月 11 日に開催する追悼式の内容を検討する実行委員会への出席および追悼式を開催した。2500 名の参加があった。
②平成 28 年度防災･減災カレッジの中間報告、平成 29 年度防災・減災カレッジの説明、あいち・なごや強靭化共創センター（仮称）の説明をうけた。
③熊本地震における避難所運営での経験や教訓を活かし、災害時に円滑な避難所を行えるよう、現行の避難所運営マニュアルを見直している。
④防災とボランティア週間シンポジウム（1/15 ＠稲沢市）や防災・減災カレッジ（今年度で 5 回目の開催。参加者数は 2,163 名）、愛知県防災ボランティアコーディネーター養成講座（12 月から 4 回開催。参加者数は 411 名）の報告、東海ハムの祭典後援や県主催防災啓発イベントの名称、広域ボランティア支援本部の機能強化について協議した。

１０．１億総レスキュー会議
日　時：2017 年 1 月 13 日(金) 10:00 ～12:00
2017 年 2 月 10 日(金) 10:00 ～12:00
2017 年 3 月 10 日(金)
場　所：愛知ネット事務所　他
担当者：上田・小林・内藤・南里・西谷・村松
内　容：各センターの防災・東日本大震災関係行事、防災事業情報共有、防災意識啓発ツールの手順習得、衛星電話や LINE を利用した訓練等行った。

Ⅱ　情報支援事業

1. あんぴメール、安全・安心メール

(1)実施概要

１．災害時に携帯電話のメールシステムを使い安否の確認をするとともに、安否の確認を家族に知らせるシステム。また、そのシステムを流用し、平常時は不審者情報や火災情報などを配信する安全・安心システムの運用。

(2)目標・計画と実績

１.目標：　安否確認システム利用者 3 万人。安全・安心システム利用者 1 万人。
計画：安否確認システムで 5 千人、安全・安心システムも含め 1 万 3 千人を計画。
実績：利用者数は、安否確認システムは 1 千人。安全・安心システムは 1 万 3 千人となった。

●従業員の人数
2 名(天野・松永)
●受益対象者の範囲および人数
1 万 4 千人

(3)実施した事業内容

あんぴ・安全安心メールの今後の方向性について、ユーザーにヒアリングを行った。老朽化した現システムは現状維持ですらコストがかかりすぎる為、他社への業務委託も含めた方向転換の可能性を検討した。また、セキュリティソフトのバージョンアップの為のシステム改修の方法とスケジュールを検討し、決定した。

(4)今後の計画・課題

今後の計画：安否確認システムの多様化により、他のシステムへの乗り換えを検討している自治体も増え、利用ユーザー数は減少傾向にある。本システムは開発から 10 年以上が経過しており、セキュリティソフトのバージョンアップ等には、現状の設備では対応できなくなってきている。サーバ等の周辺機器をメンテナンスし現状維持できるよう対応する。あんぴメールについては、同サービスを行う他社への委託を視野にいれ、システムの運用についてさらにユーザーにヒアリングを行い、今後の方針を検討していく必要がある。安全安心システムについては、既存のメールサービスから、スマートフォン向け地図アプリを導入したシステムへの移行を視野にいれ、さらなるシステム改修について検討してく必要がある。

今後の課題：メンテナンスの詳細を現利用ユーザーに早急にアナウンスする。また、他社への委託を含めたシステム運用の計画についての意見や要望をヒアリングし、具体的なスケジュールや移行計画について方針を協議していく。

●災害救援

Ⅰ　被災者支援センター

1．実施概要

1．2011 年 6 月より愛知県が設置し、当団体含む愛知県内の 3 つの NPO が運営している。東日本大震災を被災し、愛知県へ避難されている方の支援を継続して実施している。一人ひとりのいのちや暮らしに焦点をあてた支援活動を実施している。

2.目標・計画と実績

東日本大震災発生から 5 年が経過した現状において、避難先の市町村や地域コミュニティ等の理解と協力を得て、支援活動を実施する。

●従業員の人数

1 名（南里）

●受益対象者の範囲および人数

愛知県へ避難されている 980 名（2017 年 3 月 30 日現在）

※2016 年 6 月時は、1042 名

3.実施した事業内容

① 『受入被災者支援市町村等担当者会議』を 6 月 17 日に実施。市町村等との連携による支援内容についての説明の他、福島県より応急仮設住宅の給与期間の説明や支援内容等について説明がなされた。

② 環境省、福島県、(一社)ふくしま連携復興センター、(公財)原子力安全研究会等の来所対応。

③ 個別訪問オリエンテーションを 7 月 7 日・8 日実施。個別訪問同行の在宅保健師等参加。

④ 『ふれあいひろば豊橋』を 7 月 10 日に豊橋市民センターにて開催。豊橋市内を中心に参加者は 24 名であった。避難者が経験した被災後の状況から今後の見通しに至るまでの情報交換を行った。

⑤ 避難者の状況や今後の見通しを尋ねるアンケートを発送。

⑥ 市町村訪問のため担当市町村を訪問した。訪問日と市町村名は以下の通り。
7 月 14 日(幸田町・蒲郡市・碧南市)、7 月 15 日(知立市・安城市)、7 月 20 日(豊田市)、7 月 28 日(岡崎市・みよし市)、8 月 17 日(西尾市)、8 月 23 日（豊川市)、9 月 6 日（田原市）で実施した。

⑦ 『これからのくらしを一緒に考えよう』を 10 月 12 日に岡崎市（岡崎市職員会館）にて実施。福島県より避難し、応急仮設住宅などの供与終了に該当する方をはじめ岡崎市近郊に避難する、受入れ被災者の方へ参加を呼びかけ。福島県の他、岩手県内陸避難者支援センター、宮城県大阪事務所、愛知県内の専門家のご協力のもと、相談会と交流を実施した。

⑧ 『個別支援のための研修会』を 10 月 17 日に岡崎市（愛知県西三河庁舎）にて実施。受入れ被災者が抱え且つ解決方法を模索する問題を、市町村担当者や保健師、民生委員等が参加する本会において検討した。

⑨ トヨタ自動車株式会社が参加する「ふくしまサクラモリプロジェクト」を 2017 年 4 月 1 日に実施されるにあたり、愛知県内の受入被災者へ参加の声掛けやコーディネートをした。

⑩ 濱田農園、ふれあいひろば小牧、定期便発送等を継続実施。

Ⅱ　平成 28 年 熊本地震 被災地への災害救援活動

第一四半期においては、熊本県益城町において、別紙の緊急支援活動を行うとともに、豊田東名ライオンズクラブ(豊田市)、スマッシュ経営協同組合（知立市）からご寄付の相談があっり、益城町や西原村とのコーディネートを実施することとなった。

第二四半期においては、熊本県益城町だけでなく、西原村・阿蘇市でも活動実施した。仮設住宅への入居が進んできたことを受けて、地域連携のフェーズに入ったと判断し、愛フェス 2016 への参加呼びかけ（熊本復興支援ブースとして 9 月 17 日～18 日に実施予定であったが、台風の影響を鑑み、本ブースは中止とした。）や愛知県内の団体と熊本をマッチングする活動も行った。

第三四半期においては、愛知県知立市消防団と熊本県益城町消防団（益城町消防団 第二分団七班 消防団員）とをマッチングし、地震発生時における消防団員の動きについてヒアリングするコーディネートをした。

第四四半期においては、セラミックス連合（名古屋市瑞穂区）の食器支援のご相談をうけ、益城町商工会等と調整をして、食器を現地へ届けるコーディネートをした。

■ 社 会 教 育
Social education

社会教育とは、学校教育法に基づき、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーション活動を含む）をいうとされています。

美浜少年自然の家は青少年及び成人が、規則正しい集団宿泊生活をしながら、研修活動、野外教育活動、レクリエーション活動などを通して、協同・友愛・奉仕の精神を養い、より良い社会人としての資質を身につけるための社会教育施設です。

愛知ネットは、愛知県美浜少年自然の家が公の施設であることを認識し、公平公正な運営を厳守し、すべての県民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら実生活に即した教養を高められるように、愛知県美浜少年自然の家として、環境を整えた社会教育の場を提供します。

● 愛知県美浜少年自然の家

センター概 要

場　　所：愛知県知多郡美浜町大字小野浦字宮後1番地の1
電　　話：0569-88-5577
ファクス：0569-88-5385
E－mail：info@sizennoie-mihama.jp
U　R　L：http://sizennoie-mihama.jp
開館時間：
　8時30分～17時30分(宿泊客無し)
　8時30分～22時　　(宿泊客有り)
休 館 日：年末･年始6日間及び9月下旬から3月中旬まで原則月曜日

敷 地 面
：208,837.42 ㎡
建物延面積：10,695.21 ㎡
宿 泊 定 員：500 人

構造･規模 ： 本　館　棟　　SRC 造 6 階建　8,450.33 ㎡
体　育　館　　RC 造 1 階建　1,284.64 ㎡
ｷｬﾝﾌﾟ管理棟　RC 造 1 階建　　63.42 ㎡
ﾃﾆｽｸﾗﾌﾞﾊｳｽ　RC 造 1 階建　　63.54 ㎡
付　属　棟　プロパン庫、汚水処理施設、野外便所 2 棟、渡り廊下、野外施設
（詳細は下記参照）

主 な 施 設 ：

屋外施設…つどいの広場、ロマンの広場、ふれあい広場、チャレンジ広場、臨海広場、屋根付野外炊飯場 2 箇所、営火場 2 箇所、アスレチック場、テニスコート 4 面、ハイキングコース、展望台、野外ステージ、あずまや 2 カ所、駐車場 3 カ所など

本　　館…宿泊室 48 室(1 室 10 人)、本部室 3 室、リーダー室 9 室、研修室 10 室(1 室 50 人)、講堂(500 人)、食堂(250 人)、大浴場(70 人)、中浴場(50 人)、コミュニティーホール、事務室

体 育 館…バスケットボール(2 面)、更衣室(2 室)

主 な 設 備 ：

身障者専用駐車場、車椅子用出入口（自動ドア）、車椅子用スロープ（各所）、点字付公衆電話、エレベーター（音声案内･点字版）、車椅子専用トイレ（2 階、3 階）、AED（自動体外式除細動器）、車椅子(2)

利用料金

宿泊料	小　中　学　生	700 円	高　校　生　以　上　大　人	1，400円
食　事	朝食　570円	昼食　720円	夕食　945円	合計　2，235円

施　　設		午　前	午　後	夜　間		午　前	午　後	夜　間
体　育　館	宿泊	1，950円	2，600円	1，950円	日帰り	3，900円	5，200円	3，900円
講　堂		2，500円	3，400円	2，500円		5，000円	6，800円	5，000円
研修室　1～9		1，850円	2，550円	1，850円		3，700円	5，100円	3，700円
研修室　10		2，450円	3，300円	2，450円		4，900円	6，600円	4，900円
テニスコート4面	2時間	600円	4時間	1，200円	8時間	1，800円		
午　前　9:00～正午		午　後　13:00～17:00		夜　間　18:00～21:00				

Ⅰ　特定非営利活動法人愛知ネットの役割と任務

１．委託業務名・目的

(1) 業　務　名：愛知県美浜少年自然の家指定管理業務

(2)　事業の目的 ： 美浜少年自然の家は、豊かな自然の中で、規則正しい集団生活をしながら各種の講義・スポーツ活動・レクレーション・創作活動・野外活動などの研修を通して、健全な青少年やよりよい社会人を育成することを目的としてつくられた社会教育施設です。

愛知ネットは、この設置目的に沿い、美浜少年自然の家の管理運営を行い、青少年が『創造力』『生きる力』『和（役立ち合い）の精神』を培い成長することを支援すると同時に青少年少と大人が共に育ち合う社会づくりに貢献します。

(3) 実 施 期 間 ： 平成 28 年 4 月 1 日～平成 33年 3 月 31 日の 5 年間

２．愛知県美浜少年自然の家の業務内容

(1)業　　務

① 美浜少年自然の家の利用を許可すること
② 美浜少年自然の家の利用の許可に条件を付けること
③ 美浜少年自然の家の利用の中止を承認すること
④ 美浜少年自然の家の利用に係る指示をすること
⑤ 美浜少年自然の家の利用の許可を取り消し、又は利用の中止を命ずること
⑥ その他美浜少年自然の家の施設を維持管理し、運営すること

(2)運 営 業 務

愛知県美浜少年自然の家利用者への便宜供与、利用促進及び安全管理等、別に定める愛知県美浜少年自然の家管理要領に基づき運営を行う。

③ 利用申し込み・受付・許可に関する業務　② 館内案内、利用案内、接遇業務
③ 少年自然の家利用者ニーズの把握とサービス向上に関する業務　④利用促進に関する業務
⑤ 少年自然の家の情報提供、広報、広告に関する業務　⑥ 利用料金の収受業務
⑦ 地元自治体、各種団体、地域住民、公共機関等との連絡調整業務
⑧ 県民やボランティア等との協働事業の推進
⑨ 迷子、拾得物及び遺失物の対応に関する業務　⑩ 各施設、ゲートの開錠、施錠の管理業務
⑪ 緊急・救急対応に関する業務　⑫ 警備に関する業務
⑬ 館内巡視及び利用指導に関する業務　⑭ 主催事業に関する業務
⑮ 加盟協議会・協会に関することを適切に行う業務
⑯ その他運営に関し必要な事項に関する業務

(3)施設管理業務

業務の対象は、敷地、建築物、電気設備、機械設備、建築物付属備品、工作物等とする。
業務の実施に当たっては、適用を受ける関係法令等を遵守する。

建築物、電気設備、機械設備、建築物付属備品、工作物管理業務

① 点検業務　②保守業務　③建築物等清掃業務　④異常発見時の処置　⑤境界の見回り

Ⅱ　目標と実績

１　平成 28 年度の運営目標

（1）　愛知ネットが、愛知県美浜少年自然の家が公の施設であることを認識し、公平公正な運営をする。

（2）　社会教育の場として美浜少年自然の家を提供し、「青少年の『創造力』『生きる力』『和（役立合い）の精神』の教養・向上に寄与し、より良い社会人への成長を促す」社会教育施設を目指す。

（3）　職員一人ひとりが、愛知県美浜少年自然の家の業務遂行能力を身に付ける。
職員一人ひとりのよさを生かし、適材適所に配置し、その人を伸ばし、組織力を高める。

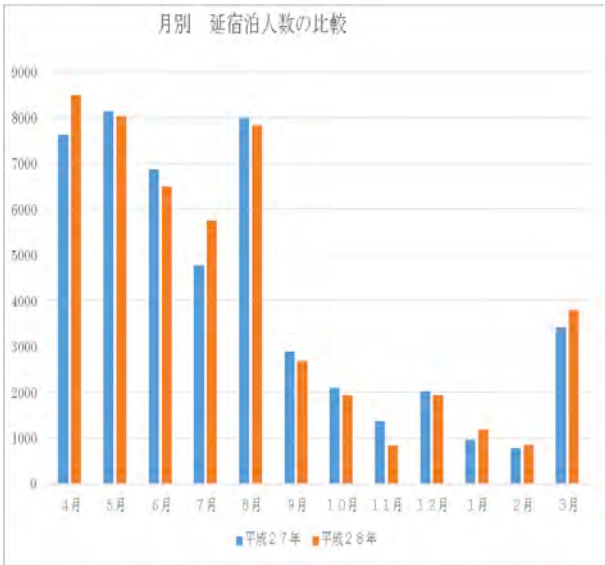
（4）　平成 28 年 4 月から 33 年 3 月の指定管理期間 5 年間の宿泊利用者目標数 260,000 人とし、初年度は 49,000 人を目指す。

２　利用者数・利用料収入の目標と実績

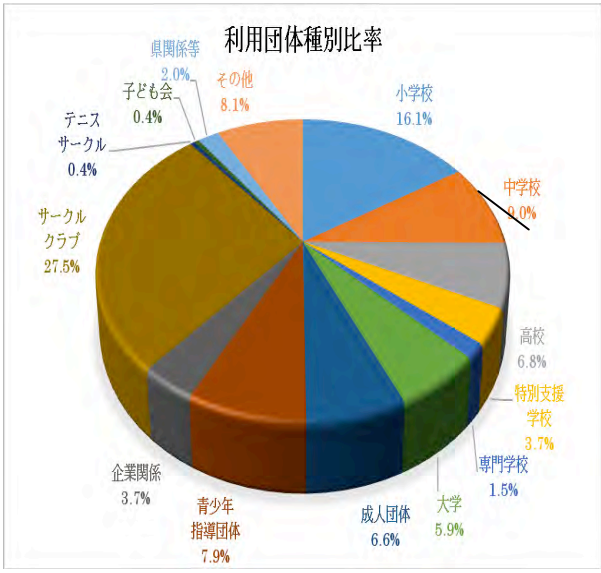
１　宿泊利用者数

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
本年度目標	22,300 人	16,000 人	4, 500 人	6, 200 人	**49,000 人**
実　　績	23,003 人	16,284 人	4,725 人	6,375 人	**50,387 人**
目標との差異	703 人	284 人	225 人	175 人	**1,387 人**
※宿泊利用率	50.6%	36.2%	14.9%	18.5%	**29.9%**

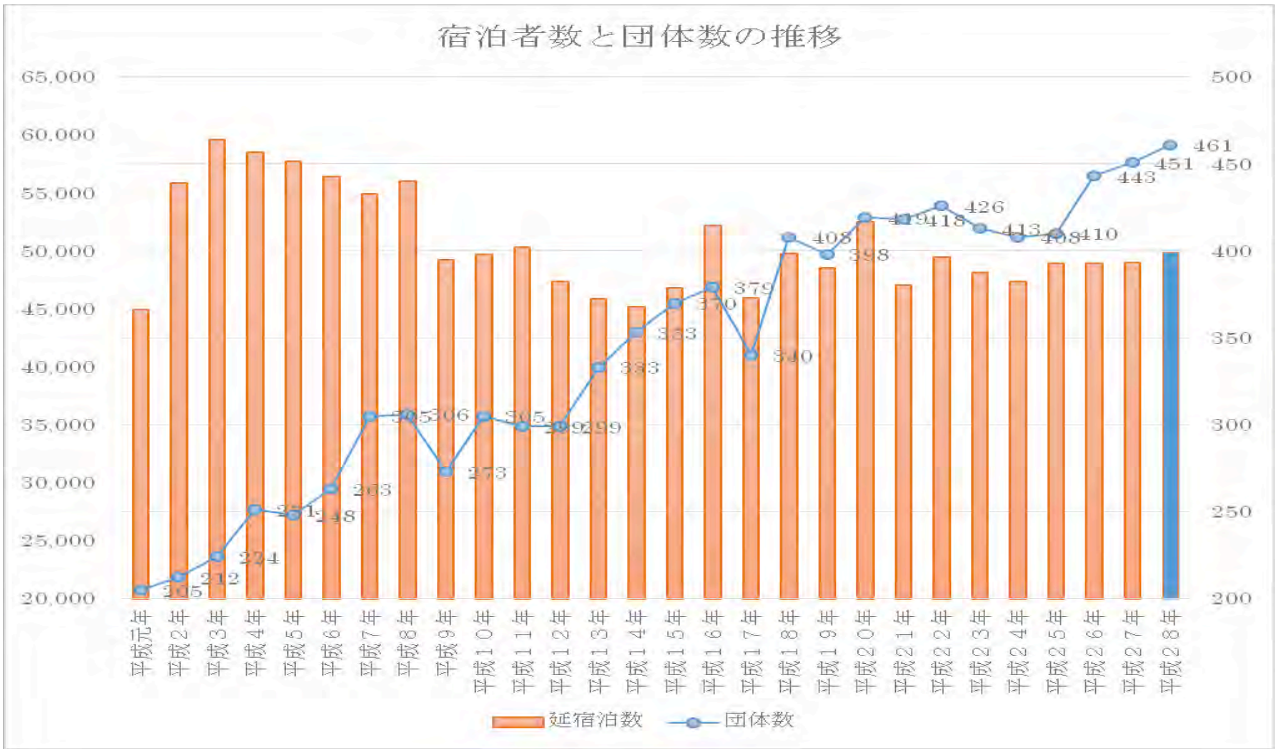
※平成 27 年度・28 年度月別　延べ宿泊人数の比較



※宿泊利用団体数 464 団体　団体種別比率



区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成元年	団体数	16	18	35	39	13	11	18	5	8	13	29	205
	利用数	7,876	11,093	6,013	7,030	2,175	1,482	3,391	2,011	256	634	2,988	44,949
平成3年	16	19	17	33	32	14	15	15	18	7	15	23	224
	9,536	11,252	10,739	7,537	5,255	1,466	3,570	2,754	1,174	1,160	1,647	3,481	59,571
平成12年	33	31	34	41	60	16	15	11	13	4	7	34	299
	9,370	8,958	8,738	5,801	4,198	1,776	2,083	1,628	1,480	152	238	2,915	47,337
平成22年	48	53	48	60	76	37	16	16	15	12	14	31	426
	10,005	8,940	6,209	5,389	7,054	3,101	1,954	537	1,968	948	1,148	2,182	49,435
平成27年	36	55	54	46	88	40	29	21	16	16	15	35	451
	7,625	8,144	6,873	4,791	8,005	2,899	2,102	1,369	2,033	962	789	3,419	49,011
平成28年	48	50	55	56	87	37	27	14	20	14	16	47	471



Ⅲ．主催事業（実施したイベント）

１　家族で地引網　伊勢湾の魚をとろう!

日　程:6 月 11 日(土)～6 月 12 日(日)
対　象:小学生以上とその家族
参加費:大人 5,500 円、中学生以下 4,800 円
場　所:愛知県美浜少年自然の家・小野浦
　　海岸・ビーチランド
内　容:地引網体験、魚捌き体験、野外炊飯、ビーチ
　　ランド入園･海の生き物とのふれあい体験
指導者　美浜少年自然の家職員 10 名・キャンプ
　カウンセラー7 名・地引網漁師 5 名
参加者　39 家族 111 名（大人 56 名・子供 55 名）

２　親子投げ釣り教室!

日　程:9月3日(土)～9月4日(日)
場　所:愛知県美浜少年自然の家・小野浦海岸
対　象:小学生以上とその家族
参加費:大人 5,500 円、中学生以下 4,800 円
内　容：釣りの基礎基本･投げ方練習･投げ釣り
　　実習、2 日目 6:30･投げ釣り
　指導者　美浜少年自然の家職員 9・愛知県釣り
　　インストラクター17 名等
参加者　10 家族 27 名(大人 14 名・子供 13 名

３　地引網とキャンプファイヤー

日　時：平成 28 年 9 月 10 日(土) ～11 日(日)
場　所：愛知県美浜少年自然の家・小野浦海岸
対　象:小学生以上とその家族
参加費:大人 5,500 円、中学生以下 4,800 円
指導者：美浜少年自然の家職員 9・愛知県キャン
　　プカウンセラー５名
参加者　10 家族 49 名(大人 22 名・子ども 25 名)
　　地引網漁師 4 名等
内　容　初日・地引き網･魚さばき･野外炊飯
　･キャンプファイヤー・2 日目･ウォークラリー

4　青のキャンプ~海の体験学習~

日　時：平成 28 年 10 月 15 日（土）～16 日（日）
場　所：愛知県美浜少年自然の家・小野浦海岸
　　食と健康の館
対　象:小学生
参加費:4,000 円
指導者：美浜少年自然の家職員 9・天体観測２名
　　自然観察指導員１名
参加者　小学生８名
内容　初　日・塩作り（食と健康の館）・魚さばき
　　＆野外炊飯・天体観測
　２日目･磯の生物観察（小野浦海岸）写真配布
・キャンプファイヤー・２日目･ウォークラリー

5　緑のキャンプ~山の体験学習~

日　時：平成 28 年 10 月 29 日（土）～30 日（日）
場　所：愛知県美浜少年自然の家・田中農園
対　象:小学生　　参加費:5,000 円
指導者：美浜少年自然の家職員 9・天体観測２名
　　田中農園２名
参加者　小学生 19 名
内　容　初日・カレーライス作り･ドングリや松
　　ぽっくりを材料にした工作･天体観測
　２日目･ミカン・キウイ狩り（田中農園）
　　写真配布

6　ブルーツーリズム(美浜町コラボ企画)

日　時：平成 28 年 11 月 26 日（土）～29 日（日）
場　所：愛知県美浜少年自然の家
対　象:小学生以上とその家族
宿泊費:大人 1400 円、小学生 700 円
指導者：美浜少年自然の家職員９名
　　・美浜町産業振興課職員４名
参加者　７家族　20 名
内　容　初日塩造り、灯台で記念撮影、干物作り
　２日目･クリスマスツリーつくり

野外炊飯・BBQ・干物・焼きそば
トン汁・もちつき

7　コラボ企画！ハマ♡　コイ×みはま
ブルーツーリズム(婚活イベント)
美浜少年自然の家に泊まる１泊２日の婚活

日　時：平成 29 年 2 月 11 日(土) 午後 1 時～
12 日(日)午前 11 時 30 分
場　所：美浜少年自然の家及び総合公園体育館
参加要件 :男性　町内在住･在勤 25 歳以上 45 歳
女性　25 歳以上 45 歳までの独身の方
参加費:男性 6,000 円女性 4,000 円(内泊 1400 円)
申込先:美浜町まちおこし実行委員会
事務局:みはま婚活推進室(美浜町企画政策課)
参加者:16 名
内　容:婚活必勝セミナー・イルミネーション会
恋の談話室キャンドルサービスでのフリータイム・
バレンタイムチョコ作り・・(この時点５組成立)

8　カレーうどんづくり

日　時　平成 29 年 3 月 4 日　午後 5 時～
場　所　美浜少年自然の家　広場・1･2 研
参加費　600 円
参加者　宿泊客の中から参加者を呼びかける
48 名参加(スポーツクラブ)
内　容　うどん粉を煉る･延ばす･切る･うでる
手作りうどんをのカレーうどんを作る
食べる
指導者　美浜少年自然の家　職員 7 名

Ⅳ　平成 28 年度　東海北陸地区青少年教育施設協議会運営研究大会

◆平成28年度東海北陸地区青少年教育施設協議会　役員

会　長　愛知県美浜少年自然の家　所長　高柳　良康
副会長　国立乗鞍青少年交流の家　所長　徳永　章人
監　事　国立立山青少年自然の家　所長　岩倉　公男
監　事　国立中央青少年交流の家　所長　山本　裕一
理　事　奥越高原青少年自然の家　所長　竹村　和貢
理　事　三重県立鈴鹿青少年センター所長　大井　真史
事務局長 愛知県美浜少年自然の家　主任　海林　幹拓

◆　**会　場**　愛知県美浜少年自然の家　講堂･研修室･食堂

◆　**参加者**　東海北陸７県 34 社会教育施設　各所長等 65 名
　参加費　6,000 円　**経　費**　収支　376,000 円

◆大会テーマ「青少年教育施設からおこそう体験の風」

趣旨　近年、社会が豊かで便利になる中で、青少年の自然体験、社会体験、生活体験などの体験が減少している状況を踏まえ、子どもたちの健やかな成長にとって体験がいかに重要であるかを広く家庭や社会に伝え、社会全体で体験活動を推進する機運を高める契機となるよう、東海北陸地区の青少年教育施設職員が一堂に会し、研究協議を行う。

◆日　程　　平成 28 年 11 月 10 日(木)13 時～11 日(金)11 時

◆開会式

主催者挨拶　愛知県美浜少年自然の家所長　高柳良康
来　賓祝辞　愛知県教育委員会教育長　平松　直巳　代理
　　愛知県教育委員会生涯学習課長　冨田正美

◆基調講演・・『　みんなで　体験の風をおこそう
　～調査結果から見える　青少年の体験活動の意義～』
独立行政法人 国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター
副センター長　服部英二

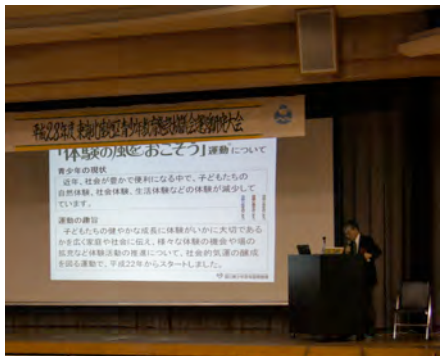
◆分科会

第１分科会（発表石川県）

11 月 10 日（木）　国立能登青少年交流の家　西　裕之
『ねばり強く取り組み、主体的に生き抜く子供の育成
　石川縦断キャンプ「ＡＣＴＩＶＥ２０１６」の実践より』
11 月 11 日（金）石川県立白山青年の家　前川　桂津行
『 白山手取川を旅するキャンプ 』

第２分科会（発表静岡県）

11 月 10 日（木）静岡県立観音山少年自然の家　神　宏之
『 観音山少年自然の家の今後の在り方を考える
～観音山の歴史や時代背景・感動体験が与える影響などの考察を通して～』
11 月 11 日（金）国立中央青少年交流の家　小見山浩二
『「東北と静岡をつなぐ　富士サマーキャンプ」の紹介』



◆　**開会式**　次期会場県挨拶
福井県
　奥越高原少年自然の自然の家
　　所長　竹村和貢

1　成果

(1) 28年度宿泊利用目標数 49,000 人に対し、宿泊利用人数 50,387人となり目標を達成した。23年度から過去5年間の最高利用数が27年の 49,011 人、最低が24年の 47,320 人であり、5万人突破は22年以来6年振りである。

(2) 利用団体数も平成元年開所以来最高の27年度の451団体を、28年度は 20 団体上回り 471 団体となり記録を更新した。

(3) 開所以来 10 年ほどは 250 団体で5万人を超えることが多いが、現在は宿泊数が 1 泊が多いことと、各公立小・中校少人数化という理由で、1団体単純平均で 100 人ほどになった。

(4) 4点満点の記述式お客様満足度評価は、4半期ごとに3.61, 3.54, 3.64、3.72となり、職員の力量の向上、最高のサービスの提供に少しずつ向上が見られた。

(5) 27年度・28年度 2 年にわたり、東海北陸地区青少年教育施設協議会運営研究大会の会長職を愛知ネット高柳良康が務めた。

① 愛知・静岡・岐阜・三重・富山・石川・福井県の東海北陸地区青少年教育施設協議会運営研究大会が平成17年度に第1回が開催され、28 年度で 11 回の歴史を持つ。

② 27 年、28 年の開催県が愛知県になり、会場は、27 年度は愛知県青年の家、28 年度は愛知県美浜少年自然の家が受け持ち、いずれも 11 月第 2 木曜日、金曜日に 2 日間にわたり開催された。

③ 大会テーマ「青少年教育施設からおこそう体験の風」の旗のもと、7 県下 34 施設、各所長等 65 人が参加した。

④ 事業の成果（28年）

参加して頂いた方には、非常に満足していただける内容であった。基調講演として、国立青少年教育振興センター服部英二氏より「みんなで体験の風をおこそう～調査結果から見える青少年の体験活動の意義～』と題してご講演をいただいた。

分科会では、各教育施設から事例報告があり、それぞれ活発な意見交換が行われた。

また、情報交換会での、飛び交う情報、人と人、心と心、施設と施設の交流が参加者及び施設の大きなエネルギーとなった。

2　課題

(1) 利用者の安全確保、安全指導

① 施設の安全管理

当施設の沿革は 63 年度造成工事、本館棟建築工事・付属棟等建築工事完了、平成元年保安林整備事業・展望台工事着手、2 年体育館・3 年炊飯棟工事完了である。

利用者は平成元年 5 月開所以来 28 年 8 月 21 日に宿泊利用者 140 万人を達成した。

愛知ネットが指定管理者となった平成 28 年 4 月 1 日より 29 年 3 月 31 日の 1 年間で、延べ宿泊利用者 50,387 人に日帰り利用者を加えると、総利用者数は 90,456 人に及ぶ。

建物内外の安全点検、危険箇所の修理、修繕、機械設備の点検、補修、建物の管理等をを計画的に日々着実に管理・保全をする。

②食の安全管理（みはま食品株式会社との連携指導管理）

ア 食の安全は、大部分を占める食堂での 3 食、野外炊飯での食材提供、調理、及び、地引き網で取れた魚、プログラムにある海苔、干物、塩作り等の食材提供、安全調理を含めた食の安全管理をする。

イ アレルギー対応は可能な限り、事前連絡、事前確認、当日確認を含めて行う。

③ プログラムの安全指導

海での水浴、カヌー、生き物探し、地引き網、投げ釣り、砂の芸術、沿岸部を含んだウオークラリー、さらに 4 本のハイキング、野外炊飯、体育館、芝生広場やチャレンジ広場でのスポーツ活動等々の安全管理・安全指導をする。

④ 医療機関との連携

(2) 職員の健康管理、通勤交通安全指導

① 職員特に宿直勤務者の健康管理及び遠距離自家用車通勤者の交通安全に配慮する。

●　豊橋市青少年センター

センター概要

場　　所：豊橋市牟呂町字東里 26 番地
電　　話：（０５３２）４６－８９２５
Ｅ－mail：info@toyohashi-yc.jp
Ｕ Ｒ Ｌ：http://toyohashi-yc.jp
開館時間：豊橋市青少年センター
　　午前９時～午後１０時
　　：宿　　泊　　棟
　　入所　午前９時～午後５時
　　退所　午前９時３０分
休 館 日：毎週月曜日
　　（月曜日が国民の祝日または
　　休日のときはその次の平日）
年末年始：１２月２９日～１月３日
構造・規模　〈建物延べ面積〉
　中央棟　：ＲＣ造３階建　１，９８２㎡
　研修棟　：ＲＣ造４階建　　８９０㎡
　宿泊棟　：ＲＣ造４階建　　９３５㎡
　屋外施設　：運動広場　　３，８４４㎡

主な施設

・中央棟…・音楽室・図書談話室・喫茶室
　　・多目的広場（遊戯室・学習室）
　　・大研修室（１００）人
　　・体　育　室
　　ソフトバレーボール３面
　　バドミントン３面
　　卓球台７台）
　　・豊橋西部地域総合型クラブ KOZOTTE 事務局
・研修棟　・豊橋市子ども会連絡協議会事務局
　　・少年団体リーダーズクラブ事務局
　　・豊橋市少年愛護センター
　　・麦笛ひろば西
　　・とよはし若者サポートステーション
　　・豊橋市青年団協議会事務局
　　・展示室
　　・工作室
　　・ユースレクレクリーダー室
　　・第１研修室（４８人）・第２研修室（１２人）・第３研修室（３６人）

利用料金

団体利用

〈施設名〉	午前 9:00~12:00	午後 13:00~16:00	夜間 17:00~22:00
第1研修室	360円	360円	620円
第2研修室	180円	180円	300円
第3研修室	360円	360円	620円
大研修室	1,150円	1,150円	1,880円
音楽室	930円	930円	1,560円
体育室（スポーツ利用の場合）	930円	930円	1,560円
運動広場（夜間利用は21時まで）	無料	無料	1,460円

※運動広場の夜間利用は４月から11月までです。
※市外の団体のご利用料金および、体育室（スポーツ以外の利用）は、上記の２倍となります。

宿泊（1人1泊につき）

小・中学校	青年（30歳未満）	一般（30歳以上）
70円	180円	300円

※市外の方のご利用料金は上記の２倍となります。
※食事、その他宿泊に必要な物は各自でご用意ください。
調理には、宿泊棟の厨房がご利用いただけます。

個人利用（体育室のみ）　午前 9:00~12:00　午後 1:00~4:00

団体利用のない場合にご利用いただけます。

〈区分〉	現金	回数券（11枚綴り）
小・中学生（※）	20円	200円
青年（30歳未満）	40円	400円
一般（30歳以上）	60円	600円

※ほの国こども パスポートが 利用できます。

・団体とは、５人以上のグループやサークルで利用する人達の事をいいます。
・団体は、センター内の施設を予約にて専有利用する事が出来ます。
・営利又は商業宣伝等の企業活動、政治活動又は宗教活動を目的とする利用は出来ません。

・宿泊棟　・宿泊室１２室　５６人
　　（・４人用和室８室・６人用洋室４室）
　　・食堂１・浴室２・厨房１
　　・談話室３・管理人室１
　　・若者サポートステーション
　　第１・第２研修室

・屋外施設
　運 動 広 場（ソフトボール１面ナイター照明有り）

Ⅰ．センターの役割と任務

１．委託業務名・目的

（１）業務名：豊橋市青少年センター指定管理業務

（２）事業の目的：豊橋市が掲げる「青少年センター運営方針」に基づき、豊橋市青少年センターを社会教育活動拠点と位置づけ、青少年が学習や話し合いを進め、仲間づくりや各種の催しに参加し、趣味を育て、教養を高めるとともに、青少年団体に自主的な活動の場を提供しています。

市内の子ども会、ボーイスカウト、青年団などの利用を優先的に認め、青少年団体の使用に支障のない範囲で一般団体の使用を認めています。

また、豊橋市青少年センターの、併設施設である、「豊橋市子ども会連絡協議会」「豊橋市青年団協議会」「少年団体リーダーズクラブ」「豊橋市子ども・若者総合相談窓口」「豊橋市少年愛護センター」「とよはし若者サポートステーション」「麦笛ひろば西」など青少年の健全育成を目的として活動する団体と良好な関係を築いていきます。

（３）実施期間：　平成２８年４月１日～平成３３年３月３１日

２．豊橋市青少年センターの業務内容

（１）自主事業の実施、施設の広報に関する業務

① 自主事業の企画、実施に係る業務

- 青少年のための研修会、講習会等の開催
- 青少年のためのレクリエーション活動の実施
- 青少年の団体活動の支援

② 情報提供、広報に関する業務

- 「広報とよはし」や教育委員会への情報提供
- 施設のパンフレット、広報誌「ヤングウエーブ」の作成・配布
- 事業・行事等のポスターやチラシの配布並びにメディア利用の広報活動
- ホームページの開設
- 利用者交流情報誌「交流タイムズ」の作成・配布
- Facebook などの SNS 機能を使った情報発信

（２）運営に係る業務

① 施設の使用承認等運営業務

② 施設使用料の徴収及び払込事務

（３）施設の維持管理業務

① 施設管理に関する業務

Ⅱ．今年度の目標

１．委託業務２期目の初年度としての平成 28 年度
申請時に掲げた事業計画５か年の目標達成に向け、豊橋市教育委員会が行ってきた業務を継続的に堅実に受け継ぎ、協定書や設置目的の理解と遂行、先進的青少年センターの運営を心掛け、全職員が計画と役割を理解しスタートする。

２．利用者目標人数 55,000 名とし、青少年センター、研修棟、宿泊棟宿泊利用者へのサービス向上に努める。

３．青少年が学習や話し合いを進め、仲間づくりや各種の催し、趣味を育て、教養を高めるとともに青少年団体に自主的な活動の場を提供する。

４．青少年の日常活動に則して、交友と研鑽の場を提供し、スポーツ、レクリエーション、青少年の研修、団体活動等の支援をする。

５．青少年に対し、防災減災に関する知識を学び、意識を向上させる啓発事業を開発し実施していく。

Ⅲ．実施したイベント

１．ボランティア養成と青年の集い事業

目的と概要

市内三社会教育施設協働事業として、市内在住在学の大学生を対象に、アウトドア体験を通じて、人との出会いや人とつながる機会を増やし、ボランティアマインドの育成と各教育施設で行われる事業への参加を通じ、青少年の交流の場として生涯学習を目指します。

①アウトドアサークルほの国らいふ「設立説明会」

日　時：平成 28 年 4 月 24 日（日）
時　間：午前 10 時～12 時
場　所：青少年センター体育室
参加者：7 名
内　容：設立趣旨と活動内容の説明を行った。

②アウトドアサークルほの国らいふ「セミナー」

日　時：平成 28 年 5 月 1 日（日）
時　間：午前 9 時 30 分～午後 1 時
場　所：少年自然の家
参加者：17 名
内　容：オリエンテーションのあと、火おこし、飯盒炊飯の基礎を学習。

③アウトドアサークルほの国らいふ流し「そうめんと BBQ 大会」

日　時：平成 28 年 6 月 12 日（日）
時　間：午前 9 時 30 分～午後 2 時
場　所：少年自然の家
参加者：10 名
内　容：調理の基本を学び、BBQ を楽しみながら交流を図った。

２．レクリエーション・インストラクター養成講座

目的と概要

毎年多くの受講者が、公認インストラクターを目指して受講する。
日本レクリエーション協会公認レクリエーション・インストラクター試験
受験資格の対象となるため、熱心な受講生が多い。

日　時：平成 28 年 5 月 15 日～10 月 2 日（全 34 回）
　　第二・第四日曜日
時　間：午前 9 時 15 分～16 時
場　所：豊橋市青少年センター
参加者：10 月 2 日終了　延べ 338 名
　　（34 回中 15 回終了）
内　容：レクリエーション・インストラクターに必要
　　な実技・理論等を様々な活動で身に付ける
講　師：日本レクリエーション協会公認レクリエーションコーデイネーター
その他：日本レクリエーション協会公認レクリエーション・インストラクター試験
　　受験資格の対象となる

回	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
日付	5/15	5/15	5/15	5/29	5/29	5/29	6/12	6/12	6/12	6/12
参加者	8	5	6	13	13	14	10	11	10	10
回	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
日付	6/26	6/26	6/26	6/26	7/10	7/10	7/10	7/24	7/24	7/24
参加者	10	10	9	10	11	11	12	11	11	11
回	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚
日付	7/24	8/28	8/28	8/28	9/11	9/11	9/11	9/25	9/25	9/25
参加者	12	12	11	10	9	10	10	7	7	7
回	㉛	㉜	㉝	㉞						
日付	9/25	10/2	10/2	10/2						
参加者	6	10	10	11						

合計	338 人

３．青年講座　前期　５月～7 月　週 1 回 全 8 回 5 講座

目的と概要

青年向けスポーツ講座で、定期的な運動の場の提供とスポーツの啓発、また同世代の青年との交流を通じて青少年の健全育成に寄与することを目的に実施している。

① ソフトバレーボール

日　時；平成 28 年 5 月 10 日～6 月 28 日
毎週火曜日午後 7 時～9 時

場　所：青少年センター体育室

参加者：延べ 113 名

② やさしいジャズダンス

日　時；平成 28 年 5 月 13 日～7 月 1 日
毎週金曜日午後 7 時 30 分～9 時

場　所：青少年センター体育室

参加者：延べ 72 名

③ ヨガ＆スモールボール

日　時；平成 28 年 5 月 11 日～6 月 29 日
毎週木曜日午後 7 時 30 分～9 時

場　所：青少年センター大研修室

参加者：延べ 45 名

④ 太極拳

日　時：平成 28 年 5 月 12 日～6 月 30 日
毎週木曜日午後 7 時～9 時

場　所：青少年センター大研修室

参加者：延べ 93 名

⑤　HIPHOP ダンス

日　時：平成 28 年 5 月 12 日～7 月 7 日

毎週木曜日午後 8 時～9 時 30 分

場　所：青少年センター体育館

参加者：延べ 65 名

前期参加者総計 388 名

青年講座　後期　9 月～11 月　週 1 回 全 8 回 5 講座

①　ソフトバレーボール

9 月 6 日（火）から 11 月 8 日（火）までの

毎週火曜日（全 8 回）

※9 月 20 日、10 月 11 日を除く

19 時～21 時

参加者：延べ 83 名

②　ヨガ＆スモールボール

9 月 7 日（水）から 10 月 26 日（水）までの

毎週水曜日（全 8 回）

19 時 30 分～21 時

参加者：延べ 40 名

③　ヒップホップダンス

9 月 8 日（木）から 11 月 10 日（木）までの

毎週木曜日（全 8 回）

＊9 月 22 日、11 月 3 日を除く

20 時～21 時 30 分

参加者：延べ 90 名

④　ジャズダンス

9 月 9 日（金）から 1 1 月 25 日（金）までの

毎週金曜日（全 8 回）

＊10 月 14,21,28 日、11 月 18 日を除く

19 時 30 分～21 時

参加者：延べ 53 名

※場　所

ソフトバレーボール、ヒップホップダンス、ジャズダンス：青少年センター体育室

ヨガ＆スモールボール：青少年センター大研修室

後期参加者総計 266 名

４．　四季の行事教室

目的と概要

四季の行事教室は、小学生と保護者向けのレクリエーション講座年４回開催している。またこの講座はレクリエーション指導の実技研修の場となっており、レクリエーション・インストラクター養成講座の受講生や福祉を学ぶ学生を研修生として受け入れている。

（１）七夕のつどい

日　時：平成 28 年 7 月 3 日〈日〉午後 1 時～3 時
場　所：豊橋市青少年センター大研修室
対　象：小学生とその家族
参加者：8 組 26 名　研修生 6 名　合計 32 名

（２）お月見のつどい

日　時：平成 28 年 9 月 24 日〈土〉午後 1 時～3 時
場　所：豊橋市青少年センター大研修室
対　象：小学生とその家族
参加者：15 組 39 名　研修生 1 名　合計 40 名

（３）クリスマスのつどい

日　時：平成 28 年 12 月 6 日（日）午後 1 時～午後 3 時
場　所：豊橋市青少年センター　大研修室
対　象：小学生とその家族
参加者：12 組 36 名　研修生 12 名　合計 48 名

（４）ひなまつりのつどい

日　時：平成 29 年 2 月 19 日（日）午後 1 時～午後 3 時
場　所：豊橋市青少年センター　大研修室
対　象：小学生とその家族
参加者：7 組 18 名　研修生 2 名　合計 20 名

５．わくわく体験講座

目的と概要

音楽室利用団体に対する、講座開講依頼が実現した例であり伝統芸能の津軽三味線を身近に体験していただくことは、講座の中でも特に人気があり、継続して受講する方が多い。

（１）津軽三味線教室（前期）

日　時：平成 28 年 6 月 8 日・6 月 22 日・7 月 13 日
　　7 月 27 日・8 月 10 日　　午後 1 時～3 時
場　所：豊橋市青少年センター音楽室
対　象：市内在住在勤の一般
参加者：延べ 71 名

（２）津軽三味線（後期）

日　時：平成 29 年 10 月 12 日・26 日
11 月 9 日・30 日 12 月 14 日
午前 10 時～11 時 30 分　　≪全 5 回≫

場　所：豊橋市青少年センター　音楽室
対　象：市内在住在勤の一般
参加者：延べ 17 名

６．わくわく体験クラブ

（１）親子ポスター教室

目的と概要

美術講師の指導により、絵画技術の習得を目的とし、ポスター教室・絵画教室を開催。ポスター教室では、親子がいっしょに作業学習をすることでふれあいを高め、より良い人間関係の形成を図る。また、絵画教室では、絵画技術を基礎から学び成果物を完成させる。

日　時：平成 28 年 7 月 27 日（水）28 日（木）
午前 10 時～正午　全 2 日
場　所：豊橋市青少年センター大研修室
対　象：小学生と保護者
参加人数：1 日目　14 組　33 名
2 日目　13 組　30 名　計　63 名

（２）ちびっこ科学スクール「電気でふわふわケーキを作ろう」

目的と概要

電流が流れるときに発熱する働きを使い、ケーキを作り上げることで科学を学んでいただきました。作り方は、三分の一の高さで裁断した牛乳パックの内側に銅板を入れ、そこにケーキの材料を流し込み通電させ、電流計の針が振れなくなったら出来上がり。
子ども達と保護者と共に組み立て、電気を学ぶとともに家族のきずなを深めることができました。

日　時：平成 28 年 10 月 23 日（日）
午前 10 時～正午
場　所：豊橋市青少年センター　展示室
参加人数：　4 組　10 名

（３）「基礎から学ぶ絵画教室」

目的と概要

豊橋市造形推進委員の指導により、水彩絵を基本から学べる絵画教室を開催し、本格的な水彩絵の手法を学ぶ。
豊橋在住の小学年生以上を対象に 4 回全てに参加できる方を対象に募る。

日　時：平成２８年 11 月 12 日(土)・13 日(日)・26 日(土)・27 日(日)
午前 10 時～正午
場　所：豊橋市青少年センター　展示室
参加者　12 人　　延べ 47 名

７．ジュニアチャレンジ講座「バドミントン」

目的と概要

ジュニアチャレンジ講座は、小学生向けスポーツ教室で、夏休み期間中の体力増進とスポーツ振興を図ることを目的とする。

日　時：平成 28 年 7 月 23 日（土）24 日（日）30 日（土）31 日（日）
8 月 7 日（日）　午前 10 時 00 分～11 時 30 分
※午後のある場合　午後 0 時 15 分～午後 1 時 45 分
場　所：豊橋市青少年センター体育室
対　象：小学生 4 年生以上
参加人数：延べ 103 名

ジュニアチャレンジ講座【卓球】

目的と概要

ジュニアチャレンジ講座は、小学生向けスポーツ教室で、冬休み期間中の体力増進とスポーツ振興を図ることを目的とする。

日　時：平成 28 年 12 月 24 日（土）・25 日（日）・27 日（火）・28 日（水）
午前 10 時～午前 11 時 30 分
場　所：豊橋市青少年センター　体育室
対　象：小学生　　参加人数：延べ 80 名

８．わくわく体験塾

（1）「くろしおサマーキャンプ・防災体験キャンプ」

目的と概要

地震が発生し、避難した先で窮屈、不自由が当たり前の環境を参加した小学生がみんなで力を合わせ、大人の力を借りながら、課題を解決していくことをテーマに、2 泊 3 日の防災キャンプを体験し、災害時、自分の命は自分で守り、自らも誰かの役に立つ側になれるよう、このキャンプから学んでもらう。

日　時：平成 28 年 8 月 15 日（月）午後 1 時～17 日（水）正午
場　所：豊橋市野外教育センター
対　象：小学生
参加人数：43 名

(2)防災講座とワークショップ「避難所体験講座」

目的と概要

豊橋市青少年センターが、第二指定避難所に指定されており、災害時に直面した時に役立つ知識を学び体験してもらう目的で開催。

リアル避難所体験として、個々の参加者が課題を持った設定で受付をしたり、協力して段ボール間仕切りの組み立て、避難所運営ゲーム HUG を体験していただきました。

玄関横においては、炊き出しカーで作ったうどんを実食いただき、災害時の食事の大切さを学んでいただきました。

日　時:平成 28 年 12 月 11 日(日)午前 9 時 00 分～午後1時
場　所:豊橋市青少年センター
参加対象者:汐田･牟呂校区の住民など参加人数:87 名

（３）「親子防災チャレンジキャンプ」
目的と概要
　日常の生活を少しだけ離れて、1 泊 2 日のキャンプの中で、様々なプログラムを体験し、災害に備えることの大切さを知っていただき、親子で「わが家の防災」について考える機会にしていただきたいと開催しました。

日　時：平成 29 年 3 月 11 日（土）午後 1 時～12 日（日）正午
場　所：豊橋市野外教育センター
対　象：小学生の親子
参加人数：15 名

９．施設開放事業

（１）センターフェスティバル「スポーツ＆カルチャー体験会」
目的と概要
　センターをより多くの方々に利用していただくために全館及び運動広場を開放し、それぞれの会場において、文化・スポーツ体験会を実施。
自由に参加、自由に楽しむフェスティバルとして開催。
日　時：平成２８年 11 月 20 日（日）　午前 10 時～午後 1 時
場　所：豊橋市青少年センター全体
内　容：西部地域総合型クラブ KOZOTTE と協働でスポーツ＆カルチャーを中心に
　　体験していただき、同時にセンターの施設を見学していただきました。
　　参加者：230 名

（２）子ども体験遊びリンピック「スポーツ鬼ごっこ大会」
目的と概要
　センターフェスティバルと同時開催で、体験の風をおこそう」推進月間事業として「スポーツ鬼ごっこ大会」を開催。上位チームに金・銀・銅のメダルを贈呈。

日　時：平成 28 年 11 月 20 日（日）　午前 9 時～午後 1 時
場　所　豊橋市青少年センター　運動広場
参加チーム：　未就学児童　　3 チーム
　　小学 1 年生～3 年生　　3 チーム
　　小学 4 年生～6 年生　　4 チーム
　　参加人数　150 人

10．青年フェスティバル

目的と概要

青年フェスティバルは、、豊橋市青年団協議会が主催し、青少年センターや青少年センターを利用する団体などが協働し、出店や盆踊りなどを楽しんでもらうお祭りであり、地域住民との交流の場として実施するものである。

日　時：平成 28 年 8 月 20 日（土）17:00～20:30

場　所：豊橋市青少年センター　運動広場

参加者数：750 人

協力団体：ＮＰＯ法人いまから/

ユース・レクリエーション・リーダー

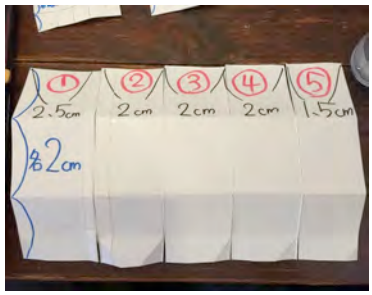
社会福祉法人豊生ら・ばるか / 西部住宅自治会 / 西部地域総合型クラブ KOZOTTE

11．防災啓発出前授業「みんなで学防災」～どう動く・どう守る・自分の命

目的と概要

豊橋市内の小・中学生を対象に知識「自助・共助・公助」を伝え日頃の備えの重要性を学び、災害時にどのように行動して自分の命を守るかを学校教育の中で指導しています。

(1)豊橋市立つつじが丘小学校＜PTA 研修会＞



日　時:平成 28 年 6 月 2 日(木)　午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

場　所:つつじが丘小学校

参加者:PTA 役員 33 名

内　容:お母さん先生の為の防災ゲーム研修

(2)豊橋市立高根小学校

日　時:平成 28 年 6 月 3 日(金)　午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分

場　所:少年自然の家体育館

参加者:5 年生　38 名

内容:スライドショーで災害を学び、非常持ち出しゲームを行った。

(3)豊橋市立二川南小学校　＜PTA 研修＞

日　時:平成 28 年 6 月 6 日(月)午後 1 時 30 分～午後 3 時

場　所:二川南小学校

参加者:PTA 役員 30 名

内容:お母さん先生の為の防災ゲーム研修

(4)豊橋市立大村小学校　＜大村校区自主防災訓練の日＞

日　時:平成 28 年 6 月 18 日(土)　午前 8 時 30 分～12 時 15 分

場　所:大村小学校

参加者:全学年 190 名　保護者 150 名　地元住民 160 名

（総計 500 名）

内容:炊き出し指導･間仕切り段ボール組み立て指導

(5)豊橋市立二川南小学校　＜校区防災訓練を交えた学校公開日＞

日　時:平成 28 年 6 月 18 日(土)午前 8 時 30 分～午後 12 時 40 分
場　所:二川南小学校
参加者:全学年 330 名　保護者 170 名　地元住民 150 名
(総計 650 名)
内容:全学年別に学防災を行った。

(6)豊橋市立つつじが丘小学校＜つつじふれ愛の日＞

日　時:平成 28 年 6 月 26 日(日)　午前 8 時 30 分～午後 12 時 30 分
場　所:つつじが丘小学校
参加者:全学年 680 名　保護者 200 名　地元住民 180 名
(総計 1,060 名)
内容:防災スライドショーといのちを守る笛つくりなどのワークショップ

「学防災」受益対象者合計:　2,341 名

12. スポーツ課協働事業　出前講座:スポーツ鬼ごっこ体験会

目的と概要

スポーツ鬼ごっこは、楽しみながら仲間と仲良くなれる要素が詰まっています。
体力の向上・運動量の確保・チーム対決によるチームワークとチームリーダーの育成に優れ
専門スポーツに移行する前の体の動き方など、基本動作が身につきます。

(1)豊橋市立南部中学校

日　時:平成 28 年 4 月 15 日(金)　午前 9 時 40 分～午後 12 時 30 分
場　所:南部中学校体育館
参加者:2 年生 7 クラス 271 名

(2)豊橋市立東田小学校
日　時:平成 28 年 5 月 10 日(火)　午前 9 時 40 分～午前 11 時 30 分
場　所:東田小学校体育館
参加者:2 年生 3 クラス 90 名

(3)豊橋市立牟呂小学校＜現職研修＞

日　時:平成 28 年 5 月 26 日(木)　午後 3 時 30 分～午後 4 時 30 分
場　所:牟呂小学校体育館
参加者:教諭 35 名

(4)豊橋市立岩田小学校
日　時:平成 28 年 5 月 31 日(火)　午前 9 時 40 分～午後 12 時 30 分
場　所:岩田小学校体育館
参加者:2 年生 4 クラス 138 名

(5)豊橋市立つつじが丘小学校
日　時:平成 28 年 6 月 7 日(火)　午前 9 時 40 分～午後 12 時 30 分
場　所:つつじが丘小学校体育館
参加者:2 年生 3 クラス 87 名

(6)豊橋市立二川小学校
日　時:平成 28 年 6 月 17 日(金)　午前 9 時 40 分～午前 11 時 30 分
場　所:二川小学校体育館
参加者:3 年生 3 クラス 82 名
(7)豊橋市青少年センター(体験会)
日　時:平成 28 年 6 月 19 日(日)　午前 9 時～午前 11 時 30 分
場　所:青少年センター体育室
参加者:豊小学校・野依小学校　合計 40 名
(8)豊橋市立東田小学校
日　時:平成 28 年 6 月 30 日(木)　午前 9 時 40 分～午後 12 時 30 分
場　所:東田小学校体育館
参加者:3 年生 3 クラス 81 名
(9)豊橋市立新川小学校
日　時:平成 28 年 9 月 2 日(金)　午前 9 時 40 分～午前 10 時 25 分
場　所:新川小学校体育館
参加者:3 年生 1 クラス 36 名
(10)豊橋市立向山小学校
日　時:平成 28 年 9 月 2 日(金)　午前 9 時 40 分～午前 11 時 35 分
場　所:向山小学校体育館
参加者:1年生2クラス 68 名
(11)豊橋市立大村小学校
日　時:平成 28 年 9 月 27 日(火)　午前 9 時 40 分～午前 11 時 35 分
場　所:大村小学校体育館
参加者:1・2 年生 2 クラス 70 名
(12)豊橋市立鷹丘小学校
日　時:平成 28 年 9 月 29 日(木)　午前 8 時 50 分～午前 12 時 30 分
場　所:鷹丘小学校体育館
参加者:3 年生 4 クラス 133 名
(13)豊橋市立杉山小学校
日　時:平成 28 年 10 月 4 日(火)　午前 9 時 40 分～午前 11 時 35 分
場　所:杉山小学校体育館
参加者:2 年生 2 クラス 66 名
(14)豊橋市立野依小学校
日　時:平成 28 年 10 月 14 日(金)　午前 8 時 50 分～午前 12 時 30 分
場　所:野依小学校体育館
参加者:2 年生 3 クラス 92 名
(15)豊橋市立つつじが丘小学校
日　時:平成 28 年 10 月 18 日(火)　午前 8 時 50 分～午前 12 時 30 分
場　所:つつじが丘小学校体育館
参加者:1 年生 4 クラス 109 名

(16)豊橋市准看護学校生

日　時:平成 28 年 10 月 19 日(水)　午後 1 時 00 分～午後 3 時 30 分

場　所:青少年センター体育室

参加者:80 名

(17)豊橋市立石巻小学校

日　時:平成 28 年 11 月 8 日(木)　午前 9 時 40 分～午前 10 時 25 分

場　所:石巻小学校体育館

参加者:3 年生 1 クラス 39 名

(18)豊橋市立豊南小学校

日　時:平成 28 年 11 月 29 日(火)　午前 8 時 50 分～午前 10 時 25 分

場　所:豊南小学校体育館

参加者:3 年生 1 クラス 29 名

(19)豊橋市立富士見小学校

日　時:平成 28 年 11 月 29 日(火)　午前 10 時 30 分～午前 12 時 30 分

場　所:富士見小学校体育館

参加者:2 年生 2 クラス 68 名

「スポーツ鬼ごっこ」受益対象者合計:1,614 名 13．広報誌　（ヤングウエーブ・交流タイムズ）

毎月初旬　月１回発行　発行部数３，１５０部

季刊誌「交流タイムズ」春季号　年末特集　１００部発行

フェイスブック　ホームページの随時更新

Ⅳ．　青少年センター並びに関連団体施設利用者数

（単位：人）

目標 年間）	第 1四半期	第 2四半期	第 3四半期	第 4四半期	累積	他施設利用	合計	進捗率	※学防災 ※鬼ごっこ
55,000	11,463	12,607	12,039	9,337	45,446	7,681	53,127	96.6%	※2,341 ※1,614

※学防災とスポーツ鬼ごっこは出前講座のため、施設利用者数には含まず「受益対象者」として計上

月	26年度	※宿泊	27年度	※宿泊	前年比	28年度	※宿泊	前年比
4	3,648	42	3,972	26	108.9%	3,156	41	79.5%
5	4,132	108	4,003	20	96.9%	4,199	37	104.9%
6	4,239	61	4,512	50	106.4%	4,020	10	89.1%
7	3,873	75	5,550	156	143.3%	4,267	86	76.9%
8	3,903	128	5,206	176	133.4%	4,613	112	88.6%
9	5,416	268	4,602	355	85.0%	3,488	41	75.8%
10	4,679	0	4,569	38	97.6%	3,927	45	85.9%
11	4,567	0	4,551	0	99.6%	3,863	15	84.9%
12	4,503	48	4,765	0	105.8%	4,189	0	87.9%
1	3,672	0	2,740	0	74.6%	2,317	17	84.6%
2	3,614	31	4,454	60	123.2%	3,593	74	80.7%
3	3,951	49	3,366	73	85.2%	3,327	9	98.8%
合計	50,197	810	52,290	954	104.2%	44,959	487	85.4%

他団体施設利用者　　単位 :人

	若者サポートステーション 集中訓練プログラム事業宿泊含む）			少年愛護 センター			麦笛ひろば西		
月	27年度	28年度	前年比	27年度	28年度	前年比	27年度	28年度	前年比
4	423	354	83.7%	132	135	102.3%	29	20	69.0%
5	347	520	149.9%	103	111	107.8%	52	82	157.7%
6	390	658	168.7%	110	111	100.9%	46	84	182.6%
7	376	331	88.0%	131	144	109.9%	19	73	384.2%
8	344	522	151.7%	85	81	95.3%	0	0	
9	475	505	106.3%	131	107	81.7%	68	93	136.8%
10	519	327	63.0%	113	120	106.2%	116	94	81.0%
11	476	385	80.9%	120	107	89.2%	99	145	146.5%
12	473	325	68.7%	131	92	70.2%	41	221	539.0%
1	309	293	94.8%	115	84	73.0%	85	158	185.9%
2	530	340	64.2%	128	115	89.8%	98	155	158.2%
3	616	491	79.7%	158	189	119.6%	97	109	112.4%
合計	5,278	5,051	95.7%	1,457	1,396	95.8%	750	1,234	164.5%

Ｖ．まとめ

指定管理業務受託2期目の初年度としての平成 28 年度をスタートしました。

・夏には、全国の公共施設内で発生する事件事故を受け、生涯学習課から緊急時の対応や危機管理体制について、確認があり、対応マニュアルなどの整備や研修があることを説明しました。

この 1 年を総括すると、施設の老朽化に伴い、中央棟高架水槽、受水槽、研修棟高架水槽など施設内水回り関係の修繕工事が頻繁に発生し、計画予算以上の修繕費が支出されました。

冬には研修棟雨漏りのため、緊急対応で、屋上一部防水工事を行いました。

消防設備点検による、避難誘導灯などの機器も耐用年数を超え、次年度に複数台の取り換えが必要になっています。

・豊橋市民センターから 3 名の移籍があり、新体制での準備をスタートしました。

・事業数は連続講座を含め、年間 50 以上、延べ 6,800 人の参加者があります。

・施設利用者は、45,000 人、施設内他事業所の利用は 7,600 人となっています。

・平成 29 年度は、新規事業も含め年間 60 以上、延べ 7,000 人の参加者を見込んだ事業を計画しています。

■NPO・市民団体支援

NPO SUPPORT

ボランティアや市民活動を支援するセンターの管理運営を中心とする事業を行政から受託し実施していきます。特に地域内分権がより進むことが予測されるため、それぞれの行政区域の特性を活かす事業が求められています。
施設の管理とあわせて、ボランティア及び市民活動の促進のために、愛知ネットの特性やノウハウを活かした事業をさらに展開していきたいと考えます。

● 刈谷市民ボランティア活動センター

センター外観

センター概要

場　　所 ： 刈谷市東陽1丁目 32 番地 2
電　　話 ： 0566-62-8231
ファクス ： 0566-62-8232
E－mail ： kcv109box@katch.ne.jp
U R L ： http://www.katch.ne.jp/~kcv109box/
開館時間 ： 9 時～21 時
休 館 日 ： 毎週月曜日(祝日の場合は火曜日)、年末年始(12月29日～1月3日)
主な施設 ： 交流スペース、談話スペース、作業スペース、情報スペース、メールボックス、ロッカー、多目的トイレ、駐車場
使用料金 ： コピー機使用は実費負担、印刷機は無料。但し用紙は利用者が持参
※施設、ロッカー、その他機材使用は無料
談話スペース ： 登録団体が打ち合わせ、団体間の交流の場として利用。
※テーブルは 18 席が 4 島有り。72 席で利用することも可能
ロッカー ： 活動に必要な備品などを保管する場所として利用。(ロッカー数は、47 個)
メールボックス ： 各団体間の連絡、文書・チラシの配布や団体宛の郵便物、ファックスの一時保管場所として利用。(メールボックスの数は、36 個)
作業スペース ： 印刷機、紙折機、製本機、丁合機、裁断機、紙そろえ機、ラミネーターを設置。
貸出備品 ： プロジェクター、ノートパソコン、スタッフコート(10着)、クリスマスツリー(2セット)、サンタクロースの衣装、スポットライト、バルーンアート空気入れ(5本)、ビンゴマシン、布ぞうり製作台(6台)、小型プロジェクター、レーザーポインター、ハンドベル、防災カルタ、非常持ち出しゲーム、紙芝居枠、名札、腕章など

Ⅰ．センターの役割と任務

１．委託業務名・目的

（１）業務名　：　刈谷市民ボランティア活動センター管理運営委託

（２）事業の目的　：　様々な分野で活躍する市民ボランティア活動団体を支援するとともに、活動に対する市民の意識啓発を図り、市民ボランティア活動を推進する。

（３）実施期間　：　平成 24 年 4 月 1 日(土)～平成 29 年 3 月 31 日(金)

２．刈谷市民ボランティア活動センターの任務

（１）情報の収集・提供業務
①「かりや衣浦つながるねット」（ボランティア情報サイト）の管理運営、登録団体の入力作業、イベント情報・ボランティア募集などのコーディネート業務、サイト利用操作説明など
②刈谷市民ボランティア活動センターのHP作成及び維持管理
③メールマガジン及び情報誌（ぼらっち。）等の発行

（２）活動場所の提供業務
①談話室の予約受付、貸出し等利用申し込みの対応
②印刷機器等設備の利用に関する事務

（３）意識啓発・普及業務
①意識啓発活動の実施（業務全体を通じて）
②啓発チラシ・パンフレット等の作成・更新

（４）人材育成・交流業務
①人材育成のための研修会を企画・運営（スキルアップ講座等）
②市民ボランティア活動団体の交流機会を増加するネットワーク構築
（NPO法人・ボランティア活動に精通した講師をお呼びし、車座集会を開催）

（５）相談・連絡調整業務
①市民ボランティア活動に関する市民からの相談窓口としての機能（マッチング活動）
②NPO法人認証取得のための相談への対応

Ⅱ．事業計画立案にあたっての考え方

センター設立当初から管理運営の委託をうけ、「市民から愛され、信頼されるセンター」をめざして活動してきた。平成 21 年 2 月に刈谷市共存・協働のまちづくり推進基本方針が策定、それに基づき、4 月には共存・協働まちづくりの推進条例が施行された。さらに平成 22 年度は市民活動支援基金制度ができ、また市制 60 周年記念事業としてコラボ 60 の事業などが実施され、センターとしてもコラボの時代の幕開けを意識して取り組んできた。平成 23 年度は、3 月 11 日の東日本大震災の発災に伴う支援をおこない、また同年は定住自立圏形成の協定が締結された。そして第 7 次総合計画も策定され、センターの目標値も設定された。平成 25 年度は、刈谷城築城 480 年記念事業をとおしてまちづくりの活性化を推進、また住民主体のまちづくりのため、「元気な地域応援交付金制度」がスタートした。これらのセンターをとりまく環境を意識して、事業を計画し、愛知ネットとしての強みを発揮して着実に推進していく。特に

１．共存・協働の時代にふさわしい支援（地域団体と市民団体とのマッチング活動）
２．東日本大震災を風化させない活動
３．衣浦定住自立圏市民活動情報サイト（かりや衣浦つながるねット）の利用の拡大
４．第 7 次総合計画の数値目標を意識した年度目標の立案

ＮＰＯ法人	平成 27 年→　25 団体	平成 32 年→　30 団体
登録団体	平成 27 年→ 350 団体	平成 32 年→ 400 団体

５．防災講座、つむぎ場などを通して地縁団体との協働促進を図ることを考慮し、事業計画を立案し推進する。

６．指定管理者として、企画提案内容を振り返り確実に実施していく。

Ⅲ．今年度の目標

（１）数値目標

登録団体、個人会員数は前年比 5%向上を狙う。来館者数においては前年以上を狙う。

（２）事業回数

スキルアップ 5 回、車座集会 5 回、わがまちのつむぎ場 1 回、以上を実施する。
特に、防災関係のイベントは 2 回以上折り込む。

Ⅳ．目標と実績

	H27年		H28年			
	実　績	目　標	目　標	実　績	達成率	前年比
総来館者数	21,789 人	21,789 人	21,789 人	22,887 人	105%	105%
相談件数	1,135 件	1,135 件	1,135 件	1,160 件	102%	102%
マッチング件数	116 件	116 件	116 件	116 件	100%	100%
団体登録	473 団体	497 団体	497 団体	488 団体	98%	103%
個人登録者	186 人	195 人	195 人	196 人	100%	105%

実施したイベント

１．車座集会

（１）第 68 回車座集会

アイシン精機の社会貢献

Be With（共に生きる）で地域を応援

日時：2016 年 8 月 19 日（金）18：30～20：15
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：30 名
講師：杉田　英俊氏　アイシン精機（株）
元総務部さわやかふれあいセンター長
担当：スタッフ全員
内容：良き企業市民として社会貢献活動に取り組む思いなどを語っていただいた。

（２）第 69 回車座集会

歴史ウォーク

日時：2016 年 5 月 19 日（木）13：00～16：45
場所：刈谷城址＆緒川城址
参加：27 名
講師：刈谷ふるさとガイドボランティアの会
東浦ふるさとガイド協会
担当：スタッフ全員

内容:刈谷の歴史文化に一層の関心をもってもらう目的で刈谷城址と緒川城址周辺の歴史ウォークを実施した。

（３）第 70 回車座集会
小さな命のメッセージ
日時：2016 年 8 月 7 日（金）10：00～11：45
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：33 名
講師：朝倉　三恵氏
　　豊橋市民センター　センター長
担当：スタッフ全員
内容：長男から教えてもらった、「命の大切さ」を熱く語っていただいた。

（４）第 71 回車座集会
2025 年問題到来　刈谷の地域福祉を考える
日時：2017 年 2 月 10 日（金）18：30～20：15
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：65 名
講師：原田　正樹氏
日本福祉大学　学長補佐　教授
担当：スタッフ全員
内容：地域福祉における 2025 年問題、地域包括システムなど、これからの参加型地域福祉の講演であり、質疑応答で一層理解を深めた。

（５）第 72 回車座集会
3.11 を忘れない　家族みんなで楽しく防災
日時：2017 年 3 月 11 日（土）10：00～11：30
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：100 名
講師：近藤　ひろ子氏
　　名古屋市港防災センター及び元名古屋大学減災センターの防災教育アドバイザー
内容：家庭でできる命を守る防災に対して、高齢者や子供にも大変分かりやすい講座であった。

２．スキルアップ講座

（１）第 75 回スキルアップ講座
社団法人 VS　ＮＰＯ法人
日時：2016 年 5 月 11 日（水）13：30～15：00
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：24 名
講師：田中　肇氏
中小企業診断士（サカエ税理士法人）
担当：スタッフ全員
内容：団体が法人格を取得するのにはどうすればいいのか、一般社団法人とＮＰＯ法人の設立方法、メリット・デメリットなどを学んだ。

（２）第 76 回スキルアップ講座
想いが伝わるチラシづくり講座
日時：2016 年 6 月 19 日（日）10：00～11：45
13：00～14：45
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：午前の部 24 名　午後の部 21 名
講師：小島　祥次氏
株式会社 meets 社長
担当：スタッフ全員
内容：想いが伝わる 手に取ってもらえる 見やすい
チラシの作り方講座で、公開個別相談もあり、
参加者から大変高い評価を得た。

（３）第 77 回スキルアップ講座
夏休み護身術講座
日時：2016 年 7 月 22 日（金）10：00～11：30
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：25 名の親子（小学生～大人）
講師：米田　正寛氏
刈谷南道院　道院長
担当：スタッフ全員
内容：少林寺拳法の技で身を守ることと、お互いに
支えあって生きていくことの大切さを学んだ。

（４）第 78 回スキルアップ講座
建物のしくみと防災
日時：2016 年 9 月 3 日（土）10：00～11：30
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：47 名
講師：長江　拓也氏
名古屋大学減災研究センター　准教授
担当：スタッフ全員
内容：実験データーや映像をもとに、建物の安全対
策について説明されたあと、家庭での身近な
対策についてもアドバイスをされた。

（５）第 79 回スキルアップ講座
地元でできる海外支援
日時：2016 年 10 月 1 日（土）～30 日（日）
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：80 組の親子
担当：スタッフ全員
内容：海外支援をしているＮＰＯ団体が取扱っている
物品を収集し、ボランティア活動のきっかけを
行なった。収集品は、インクカートリッジ他。

（６）第 80 回スキルアップ講座
3.11 を忘れない　まなぼうさい
日時：2017 年 3 月 11 日（土）11：40～14：30
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：220 名
担当：スタッフ全員+実行委員会

内容：竹燈りの点灯、黙とうの後、刈谷市赤十字奉仕団、
刈谷防災ボランティアなどの出展による体験から
防災知識を学んだ。

３．わがまちのつむぎ場８

日時：2016 年 12 月 4 日（日）13：30～15：30
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：200 名（出展者 72 名、ボランティア 22 名含）
担当：スタッフ全員+実行委員 7 名
内容：企業、行政、ＮＰＯ法人、サークルなど 36 団体
が出展し、コラボ事例発表、1 分間スピーチ、
名刺交換などの交流の場となった。

４．啓発イベント

（１）あったかハートまつりブース出展

日時：2016 年 6 月 4 日（土）10：00～15：30
場所：精成会刈谷病院
参加：300 名
担当：スタッフ全員
　　バルーンアート隊よしまーず　2 名
内容：刈谷マスコットキャラクターかつなりくんと
一緒にボランティアの啓発とかりや夢ファンド
の募金活動を行った。
寄せられた募金は 8,866 円であった。

（２）デンソーＧハートフルまつり出展

日時：2016 年 7 月 3 日（日）10：00～15:00
場所：デンソー本社 5 号館
参加：200 組
担当：スタッフ全員＋ボランティア 7 名
内容：センターの活動内容の展示及び子どもが楽しく
学べる防災活動の啓発として防災グッズを作っ
た。また、かりや夢ファンドの募金箱には
3,625 円が寄せられた。

（３）ボランティア七夕飾り

日時：2016 年 7 月 5 日（火）～8 月 7 日（日）
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：七夕飾り　82 名の親子
　　スイカ割り　34 名
担当：スタッフ全員
内容：ボランティアセンターに入館してもらい、ボラン
ティアに関心をもってもらうために、七夕飾りと
スイカ割りを実施した。

（４）ハロウィンイベント

期日：2016 年 10 月 13 日（木）～30 日（日）開館時間
場所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加：96 名の親子
担当：スタッフ全員
内容：ロビーに来られた親子に、センター内に入ってもらい、センターを知ってもらうために開催した。

５.交流イベント

（１）定住自立圏交流イベント

日時：2016 年 10 月 30 日（日）11:00～15:00
場所：イオン東浦２階ホール
参加：約 900 名参加
担当：各市町のスタッフ・市役所職員
内容：定住自立圏を形成している、刈谷市、知立市、高浜市、東浦町の交流イベントを開催した。
刈谷は TS 自主防災会が「3.11 防災紙芝居」を披露した。各市町のご当地キャラも集合し、集客に大活躍した。

６.表彰制度に登録団体を推薦

（１）愛知県ボランティア活動功労者表彰受賞

平成 28 年度愛知県ボランティア活動功労者表彰に、「小垣江ボランティアかもめ」を推薦し受賞された。授与式は 8 月 30 日（火）に愛知県本庁舎講堂であった。尚、他に刈谷市社会福祉協議会が推薦した「要約筆記かきつばた」と福祉総務課が推薦した「刈谷市赤十字奉仕団」も受賞された。

（２）内閣府エイジレス章

平成 28 年度、内閣府エイジレス章に小垣江町の平野哲孝さんが選ばれた。今年度は 112 人の応募の中で 55 人（愛知県では 1 人）が選考された。
10 月 4 日(火)に、竹中刈谷市長の伝達式があり、双方大変喜ばれた。
平野さんは、現役時代に身に付けたリーダーシップとボランティアマインドを定年後にいかし、小学生とともにホタルの再生活動にいきいきと取り組んでいることが模範となると評価された。

Ｖ．まとめ

１．数値目標

登録団体数は 105%を目標にしたが、103%の 488 団体であった。28 団体の新規登録があったが 13 団体の退会があり、103%の増加にとどまり未達成となった。退会の理由は、団体の構成人員の高齢化、後継ぎがいない等の要因である。しかし最近は若い（子育て中）お母さんたちの活動も芽生えつつあるので、今後若手ママ層への積極的な呼掛けを行うなど、向上に努力していく。
個人登録者については 105%の伸びで達成できた。

２．イベントについて

車座集会：5 回実施（年間目標５回）、スキルアップ講座：6 回実施（年間目標 5 回）、わがまちのつむぎ場：1 回実施（年間目標１回）。追加イベントとして、啓発イベント：4 回実施、交流イベント：1 回実施してきた。イベント全体では、11 回の計画に対して 17 回実施してきた結果が来館者人数の恒常等に寄与したと考える。

３．表彰制度に推薦

（１）愛知県知事賞

毎年愛知県知事賞に１団体の推薦をしているが、今年は、小垣江かもめを推薦し表彰された。

（２）内閣府エイジレス章

小垣江町で小学生と共にホタルの再生活動を行っている平野哲孝さんを推薦し選ばれた。全国では 112 人が応募し 55 人が選ばれた。愛知県では１人であった。
今までに、当センターからは、３団体と３人が内閣府から章を受けている。
表彰の推薦は、短期間で手間のかかる作業であるが大変喜ばれやりがいのある業務である。

４．今後の課題

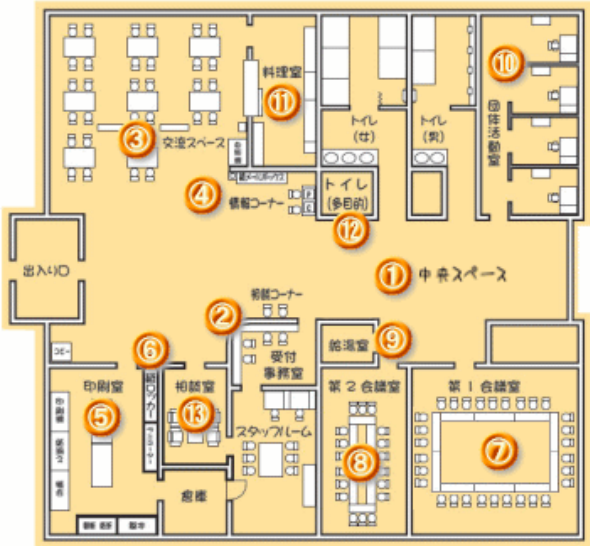
（１）おかげさまで、今後 5 年間、愛知ネットが指定管理者として受託することができたので、企画提案した新規事業について確実に推進する。
（２）今後の課題としては、いつきてもおかしくないと言われている、巨大地震など災害に対応する、災害に強いまちづくりは重要な課題であるので、愛知ネットの特長をいかし、刈谷市内の防災（減災）体質の向上及び災害発生時にはセンターが災害ボランティアセンターになることを考慮して事業を推進する。
（３）もう一つの課題は団塊の世代が後期高齢者を迎える、2025 年問題がある。「一人暮らしで認知症介護度 2 の人が地域で安心して暮らせるようなまち」をめざして地域包括支援センターや自治会などのコーディネート役を果たしていきたい。

●大府市民活動センター【コラビア】

センター概 要

センター外観

場　　所 ： 大府市森岡町４丁目８番地
電　　話 ： 0562-44-8500
ファクス ： 0562-44-8511
E－MAIL ： collabia@ma.medias.ne.jp
U　R　L ： http://www.medias.co.jp/~collabia/
開 館 時 間 ： 9 時～22 時
休　館　日 ： 毎週月曜日、お盆(8 月 13,14,15 日)
年末年始(12 月 28 日～1 月 4 日)
主 な 施 設 ：　　1. 中央ロビースペース
2. 受付・相談窓口(事務室)
3. 交流スペース
4. 情報コーナー
5. 印刷室(作業室)
6. 貸ロッカー(20区分)
7. 第1(大)会議室
8. 第2(小)会議室
9. 給湯室(会議室脇)
10. 団体活動室(4区画)
11. 料理室(ワンデーシェフ用)
12. 多目的トイレ
13. 相談室



1.　中央ロビースペース:エントランスから見渡すことのできる、広々としたスペースです。絵画や写真などの作品を展示したり、ちょっとしたおしゃべりや談話スペースとしても利用できます。

2. 受付・相談窓口:コラビア・スタッフ2名が常駐します。

3. 交流スペース:だれでも自由に利用できるスペースです。昼間は「こらび庵」がオープンします。

4. 情報コーナー:中央ロビーを挟んで、受付・相談窓口の向かい側にある情報コーナーです。インターネット接続できるパソコンが１台あって、予約なしにご利用できます。

5. 印刷室(作業室):印刷室には、印刷機、紙そろえ機、裁断機、帳合機、紙折り機、製本機、およびA1サイカラープリンター(長尺印刷化)などがそろっています。印刷機は3色刷の最新鋭機です。

6. 貸ロッカー:各団体さんの持ち物(用紙、筆記用具など)を保管することができます。20区分あります。

7. 第1(大)会議室:机が10脚、イスが30脚、ホワイトボードを備えています。会議室にもインターネットへの接続口があり、どこからでもインターネットに接続できる環境が整っています。

8. 第2(小)会議室:机が6脚、イスが18脚、ホワイトボードを備えています。

9. 給湯室(会議室脇):会議室をご利用の際に必要な給湯室です。

10. 団体活動室(インキュベート・オフィス):活動を始めたばかりの団体さんに事務所の機能を提供します。パーテーションで区切られたスペースが4区画あり、机、イスとキャビネットに、インターネットの接続口と電話の接続口があります。4区画あります。

11. 料理室:ワンデーシェフのための専用料理室です。コンロが2か所、シンクが2か所あり、いろいろな食器が30人分揃っています。数人が一度に料理することができます。
12. 多目的トイレ:電動車イスでも十分に回転できるスペースを確保した、バリアフリーデザインのトイレです。
13. 相談室:市民活動、ボランティア活動に関する相談業務に利用します。通常は貸し出しをしておりません。
14. スタッフルーム:スタッフのための事務・作業室です。ミーティングをしたり、食事をしたりすることもできます。

料 金 設 定:

使用料区分	単位	金額	利用料区分	単位	金額
第1(大)会議室	1時間	110円	白黒コピー	1枚	10円
第2(小)会議室	1時間	50円	カラーコピー(A3等)	1枚	※
団体活動室1区画	1か月	11, 300円	インクジェットプリンター	1枚	※
※団体発足後、3年以内まで		5, 650円	印刷機(マスター代)	1製版	50円
ロッカー1区分	1か月	220円	印刷機(インキ代)	1枚・色	1円

※使用料は大府市に直接納付する。利用料は指定管理者が受け取る。
※ご利用できる設備および利用料金の詳細については、スタッフまでお問い合わせください。

Ⅰ.センターの役割と任務

１. 委託業務名・目的

(1)業 務 名 : 大府市民活動センター指定管理業務

(2)事業の目的 : 大府市協働のまちづくり推進条例に基づき、市民活動の健全な発展を図る

※市民活動とは、市民等が自主的に参加して自発的に行う地域社会に貢献する活動をいう。

(3)実施期間 : 平成24年4月1日～平成29年3月31日 までの5年間

2. 大府市民活動センターの業務内容

(1)市民活動に関する相談及び援助に関すること。
(2)市民活動に関する情報の収集及び提供に関すること。
①施設内における展示等による情報提供の企画・運営
②センターホームページの維持・更新
③情報誌の企画及び発行(隔月 1 回程度)
④メールマガジンの企画及び発信(月 1 回程度)
⑤各種資料・図書等の収集及び整理並びに掲示、配架
(3)市民及び市民団体等の相互交流事業の企画・運営
(4)(仮称)センターまつり事業の実施
(5)大府市主催事業(講座、セミナー、講演会等)の申込受付関連業務の実施
(6)ワンデイシェフ方式による喫茶・飲食の提供
(7)施設の利用許可等に関すること。

①センターの利用登録及び施設（印刷室・会議室・ロッカー・メールボックス）の貸出し。

②使用料の収受（日々集計、市への報告、市指定口座への入金業務）に関すること。

③施設及び設備の維持管理に関する業務の適正な維持管理にあたっては、常に良好な状態を保つように努めること。

1)管理運営業務の対象となる施設の維持管理

2)機械設備等の保守管理

（冷暖房機器保守管理、自動ドア保守管理、セキュリティシステム、建物・設備保守管理）

④施設の清掃に関すること。

快適な環境を保つために、施設の清掃及び鍵の管理の日常の維持管理を行うこと。

⑤夜間・休業日における警備を行うこと。

随時施設内外を巡回し安全の確保を図ること。閉館時については、機械警備を行うこと。

⑥駐車場の管理（利用者への案内・整理等の実施）に関すること。

⑦センターの利用実績及び業務実施状況報告書の作成

⑧その他

1)緊急時対策・防災対策・防犯対策について、マニュアルを作成し職員の指導を行うこと。

2)衛生管理については、法令を遵守した対応マニュアルを作成し、職員の指導を行うこと。

3)個人情報保護については、大府市個人情報保護条例を遵守するとともに、職員に徹底を図ること。

4)大府市環境方針に従うこと。

5)その他、センター及び設備の管理に必要と認められる業務。

Ⅱ．事業実施計画

１．狙　い

市民活動団体からの相談に対応し、団体相互の連携・協働に寄与し、信頼されるセンターを目指す。

２．目　標

（1）相談件数　250件以上　（H27年度相談件数307件）

（2）マッチング件数　22件以上　（H27年度マッチング件数20件）

（3）NPO新規認証団体数　1団体以上（H27年度2件）

参考：来館者数　26,000人以上を維持（H27年度27,330人）

３．重点施策

（1）相談件数、マッチング件数の目標を意識した日常業務を行う

（2）団体の活動が充実・活性化するために、企業、行政、他団体との連携・協働を促す

（3）団体の活動を充実・活性化するために、ファンドレイジングへの理解を深め、継続的に活動を展開できる資金の調達を促す。

Ⅲ.各四半期毎の目標と実績

■大府市民活動センターコラビアの稼働実績

	目　標	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	合計
相談件数	250件	127件	99件	104件	138件	468件
マッチング件数	22件	5件	5件	6件	6件	22件
新規認証団体数	1団体	1団体	0団体	1団体	0団体	2団体
団体登録	—	333 団体	団体	346 団体	350 団体	350 団体
WEB会員	—	121人	121人	121人	122人	122人

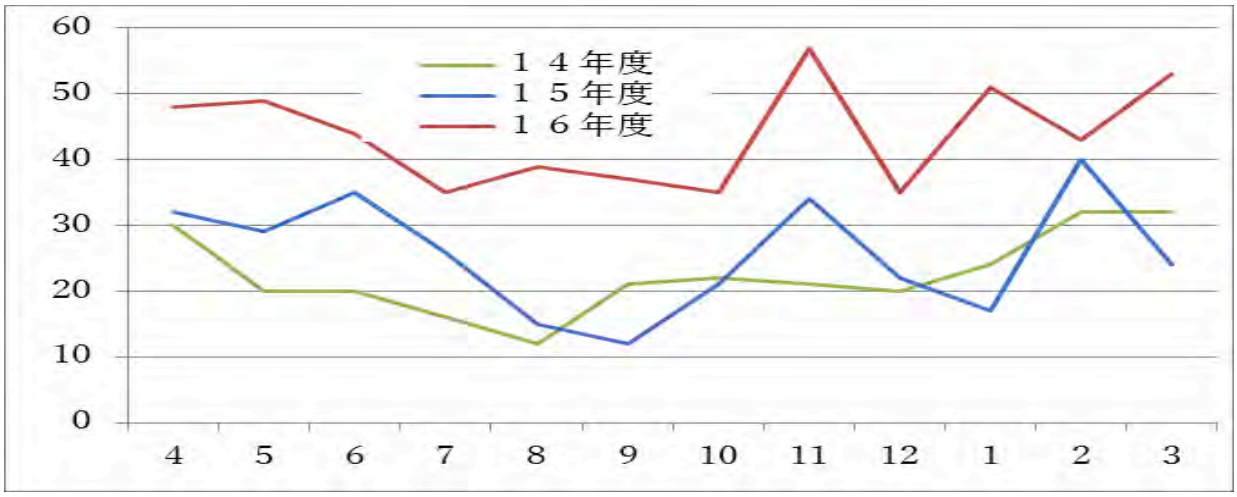
※NPO 法人ルーツ

■相談件数　　■来館者数

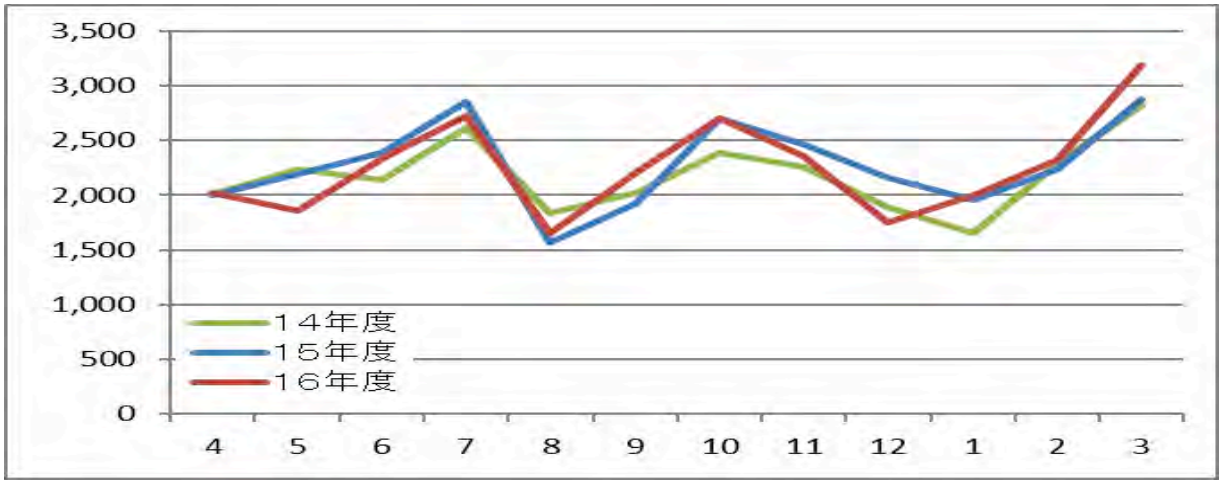
月度	12 年度	13 年度	14 年度	15 年度	16 年度	12 年度	13 年度	14 年度	15 年度	16 年度
4	17	18	30	29	45	1,376	1,629	2,013	2,004	2,021
5	16	11	17	28	41	1,481	1,658	2,239	2,192	1,861
6	20	21	24	33	41	1,376	1,852	2,142	2,394	2,334
7	17	15	12	24	31	1,845	1,928	2,612	2,850	2,720
8	3	8	15	15	35	1,808	1,821	1,837	1,562	1,650
9	8	10	18	11	33	1,606	1,710	2,021	1,929	2,206
10	9	17	17	17	30	2,564	2,013	2,394	2,708	2,705
11	18	11	19	33	43	1,775	2,019	2,261	2,462	2,357
12	9	17	13	21	31	1,604	1,724	1,890	2,157	1,752
1	25	42	22	14	50	1,534	1,828	1,655	1,958	1999
2	10	13	23	29	39	1,895	2,098	2,289	2,235	2324
3	13	10	20	21	49	3,036	3,183	2,885	2,879	3190
合計	165	193	230	275	468	22,363	23,463	26,247	27,330	27,119

年度累計伸び率 99.2%

■相談件数の推移（2014、2015年度との比較）



■来館者数の推移（2014、2015年度との比較）



■実施したイベント

（1）　スキルアップ講座　（8講座）

１．活動を記録に残そう　～大府市民活動サイト～ 日時：2016 年 4 月 14 日(木)13：30～15：30 講師：コラビアスタッフ（小林） 参加者：8 名 「①大府市民活動支援サイトを役立てよう！」「②記録写真をどう整理していますか？管理方法のコツを学ぼう！」の２つのテーマに沿って話をしたあと、大府市民活動支援サイトの使い方について持参して頂いたＰＣを操作しながら覚えてもらいました。講座を通して、支援サイト の使い方や、支援サイト内「活動報告」を続けていくことで見る側へのアピールだけでなく自分たちが活動を振り返ることもできることを知ってもらいました。また、記録写真はプライベート写真とは撮り方が違うこと、準備や片づけから撮ることで次回の活動に役立つことや、画像サイズダウンで管理しやすくなることなど、コラビアスタッフがイベント開催を通して気づいた撮影ノウハウを伝えました。	
２．「カードゲームで学ぶ避難所運営」 日時：2016 年 6 月 16 日（木）10：00～12：00 講師：コラビアスタッフ（内藤） 参加者：28 名 協力団体：おおぶ防災ボランティア ７名 講師から“HUG”の進め方について説明が行われた後、5 グループに分かれてゲームに入りました。まず取組んだのは、避難所に見立てた体育館内に受付所と通路を設けること、次に避難者の状況を示した“カード”をいかに適切に配置するか、グループ毎に相談しながら決めていきました。参加者からは、「避難所運営の大変さが実感できた」「避難所で起こることを想定しながらその解決策を日頃から考えておかなければ」など、	

防災への意識の高まりを感じることができました。	
３．みんなで考える　避難所の課題解決策 日時：2016 年 7 月 14 日(木)10：00～12：00 講師：コラビアスタッフ（内藤） 参加者：２３名 協力団体：おおぶ防災ボランティア　３名 6 月の HUG に続き防災シリーズ②として避難所における課題解決策を考えて頂きました。 避難所における課題はたくさんありますが、今回は「避難所の名簿づくり」と「トイレの確保」の２つに取り組みました。 それぞれの課題について、「理想」の姿をイメージし、「現実」の環境ではどんな姿になるかを検討しました。この場面では、参加者の住んでいる地域が異なることから、出てくるアイデアも多彩で活発な話し合いが展開されました。 　次に、理想的な行動をとるために、「日頃からやっておくことは何か」を　①自分　②地域　③行政　に分けて書き出しました。 参加者からは、「いざ自分が避難所の世話人になった時の難しさを考えると、準備しておくことがたくさんあることが分かった」「避難所の課題は奥が深いので、講座の時間を多く取ってほしい」などの声がありました。 　参加者に多くの”気づき”を得て頂くよい機会になったと思います。	

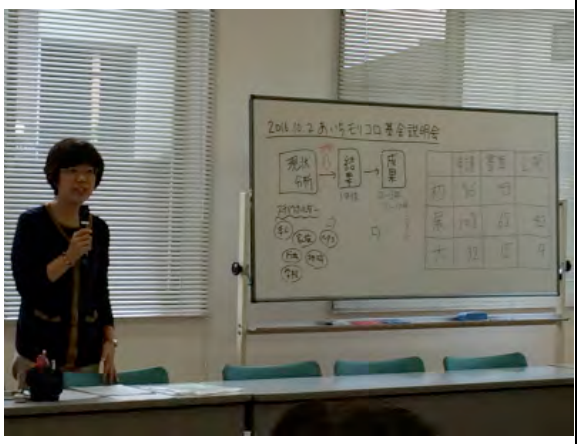
４．市民活動のためのフェイスブック活用講座

日時：2016 年 8 月 8 日（日）10：00～12：00
参加者：12 名
講師：松原圭さん（株式会社 meets）

日頃の活動のＰＲや団体内外のコミュニケーション、情報の収集、参加者の募集など、フェイスブックを団体活動に活用するための講座を開催しました。
前半は、フェイスブックとはなにかという説明から始まり、その他ＳＮＳとの比較、フェイスブックでできる投稿・イベント・メッセージ・グループ機能の説明、そしてメリット･デメリットを紹介してもらいました。
後半は、講師がひとりひとりまわりながらユーザー登録作業や登録済みの方には投稿作業のレクチャーを受けました。最後にはさらに高度な使い方として「個人ページ」ではなく「フェイスブックページ」を活用するという方法も聞きました。
参加者からは、今日の 2 時間では足りない、もっと知りたい、今日が始める良いきっかけになった、これからがんばってみたい、という声があり今後の団体活動に役立つことを期待しています。

５．「書いてみよう申請書　モリコロ基金に挑戦！」

日時：2016 年 10 月 2 日（日）10：00～12：00
参加者：6 名
講師：中尾さゆりさん（NPO 法人ボランタリーネイバーズ理事）
今回はモリコロ基金について詳しく学びました。審査員が何をポイントに申請書を見るのかを知っておくと、書き方にもいろいろ工夫ができます。
　休憩をはさんだ後は、おおぶ地域ねこの会さんの体験談をお聞きし、現在までの活動の流れを時系列でまとめ、助成を受けたことをきっかけに、活動がどう展開していったのかを説明頂きました。
　助成を受けその資金を活用した後、自分たちの活動がどうなっているのか、未来をしっかり想い描くことが申請書を書く上で大切なことだと学びました。



６．「おいしく学ぼう！身近な野菜で健康維持！」
日時：2016 年 12 月 11 日(日)10：00～12：00
参加者：13 名
講師：山口由紀子さん(おおぶ野菜ソムリエベジポックル代表)
健康のために必要な「１日３５０㌘」の野菜ってどれくらい？実際に３５０㌘のいろいろな野菜を見ながら、わかりやすくイメージしやすい説明で、楽しく学ぶことができました。野菜ソムリエの山口さんは、生産者のひとりです。参加者の皆さんからは、野菜のことの質問が飛び交いました。ピザのトッピングには、木の山芋や里芋などびっくりする食材がならびました。ちょっとの工夫で野菜が摂れるんですね。

７．「パワーポイントを使ったスライドショーの基本作成講座」
日時：2017 年 2 月 4 日(土)10：00～12：00
参加者：8 名
講師：加藤賀唯さん(NPO 法人ｺﾐｭﾆﾃｨｻﾎﾟｰﾀｰほっぷ)
自己紹介と大府のいいところを話してアイスブレイクしたあと、パワーポイントの基本の使い方を初心者の方でも分かるように丁寧に細かく説明してもらいました。持ってきたノートパソコンを使って講師の指導でスライドに文字を入れてデザインを変えたり、アニメーションをつけてみたりしました。スライドの作り方だけでなく、フォントや文字の大きさの変え方から、裏技（ショートカットキー）や動画に応用する方法など、少人数で基礎からゆっくりと教えてもらえたので、アンケートを見るとみなさんとても満足されたようでした。プレゼンテーションやコラビアまつりで流す PR 動画に活用できそうです！

８．「協働提企画提案事業交付金制度」を活用しよう！
日時：2017 年 3 月 12 日(日)10：00～12：00
参加者：６名
講師：大府市市民協働部協働促進課　坂野さん
「協働企画提案事業交付金応募要領」について説明があり、次で坂野さんから「交付金のしくみ」や「申請にあたっての注意事項」などのお話がありました。

交付金応募にあたり　①活動の「目指す姿」を明確にするとともに
メンバーと共有すること　②交付金の支給が終わった後も活動を継続することができるような工夫をすること　の２点を強調されていました。

参加した中には、早速、応募する準備を始めるという団体もありました。
支給する数に制限はないという事なので、できるだけ多くの団体が交付金を受け取れるようコラビアとしても支援してゆきます。

（２） 車座集会 （５講座）

１．自治区、コミュニティの意見交換会

日時：７月１０日（日）９：３０～１２：３０
講師：加藤 武志さん（まち楽房有限会社 代表取締役）
参加者：３０名

カフェ風なイメージのもと会場設営がされ、話合いのしやすい環境の中、市内の自治区・コミュニティ役員の方にご参加いただき、総勢３０名で地域の課題について模造紙を用いて話し合いをしました。
内容は、おしゃべりラウンドと銘打って、①お互いの活動を知る②困っていること、課題を出し合う③一緒に解決できないか考えるということに対してグループごとに話し合う。話し合いの中から出てきた課題を全体で共有し、全員で考えました。「役員の後継者がなかなかね・・」、「もっと若い方が地域の取り組み参加してもらえるとね。」など様々な意見が飛び交いました。
地域課題を何とかしなければいけないという参加者の意識の高さが見受けられ、議論を進めていく中で地域として、一緒に取り組むべきこと、これからすべきことが浮き彫りになったと感じられました。

２．学び・作り・味わう．大府の学校給食

日時：2016 年 7 月 29 日 10：30～13：30
参加者：18 名
企画団体：コラビア

大府の学校給食を、学んで作って味わう講座でした。
ゲストスピーカーには、石ヶ瀬小学校と大府小学校の栄養教諭・市給食調理員さんの６名の方に来ていただきました。
クイズ形式を取り入れたり、調理員さんが手洗いの見本を見せて一緒にやったり、楽しく学ぶことができました。給食献立メニューにチャレンジです。調理台が高いので、ちょっと背伸びしながら頑張っている子もいました。みんなの目がキラキラと輝いていました。
最後は、みんなで輪になって給食を食べ、学校給食が身近に感じていただけたと思います。

３.「どうしてる？家での親子タイム、絵本タイム」
日時：2016 年 10 月 18 日(火)10：00～12：00
参加者：12 名
講師：小山内祐美子さん(絵本サークルぽっかぽか)
小さなお子様連れのお母さん達が、どうやって親子タイムを過ごせばいいか、強い味方になってくれる絵本の良さや読み聞かせのコツなどを話し合う講座を開催しました。親子の時間を気持ちよく過ごすヒントでは、絵本を読んでいると癒されるのは子供さんだけでなくお母さんも一緒に癒されているそうです。絵本はゆっくり読むといい、お子さんは絵本の絵を見ている、絵本には汚い言葉がないなど絵本の良さを話して頂きました。同じ年代のお子さんを持つ親同士悩みや相談も親身になって聞いていらっしゃいました。

４.「学ぼう！目には見えない大気汚染とその対策」
日時：2017 年 2 月 18 日（土）10：00～12：00
参加者：11 名
講師：榊原 洋子さん（愛知教育大学教育学部准教授）
今回の講座では花粉症、ＰＭ２.５の実態、人体への有害性など学びました。また、アスベスト（石綿）の説明もあり、実態や現状、その対策まで学ぶことが出来ました。対策の１つとして、自分にフィットした防じんマスクの着用が重要だそうです。特に大規模災害で家屋が倒壊した際には、有害な粉塵が舞う可能性があります。日頃の備えとして防じんマスクは必要不可欠だと学びました。講師から防じんマスクの紹介や、石綿を顕微鏡で観察するなど実際に目で見て体感することが出来ました。参加者からは、大気汚染について考えるきっかけになった。備蓄に防じんマスクを追加するなど非常に学びのある講座となりました。

５.「男の居場所を考える！」
日時：2017 年 3 月 17 日(金)　19：00～21:00
参加者：21 名（イケてるおやじ道場）
講師：おおぶ青春ベンチャーズ　遠藤唯史さん
　　NPO 法人はっぴぃわん大府　久保田俊彦さん
大府社会福祉協議会とコラビアの共催で実施した「イケてるおやじ道場」の閉講式を兼ねて大府市内で活動されている２人のゲストを迎え、お話を伺いました。久保田さんからは、はっぴいわん農園で 9 名の活動を紹介を、遠藤さんからは青春ベンチャーズの発足の経緯と現在の活動（ふれあいベンチ作り・修繕）をお話していただき、講座終了者の今後の活動について講座の振り返りや感想などグループで話し合いました。

（３）　コラビアイベント（８）

１．石ヶ瀬小学校３年生来館（公共施設見学）

日時：2016 年 6 月 9 日(木)10：00～11：00
参加者：小学 3 年生 38 名（+引率 1 名）
最初に交流スペースでセンター長よりコラビアの説明をした後、２グループに分かれて施設を案内しました。
1 班は料理室（ワンデイシェフ）→AED→情報コーナー→トイレ→団体活動室→掲示物→会議室→給湯室。2 班は印刷室（ロッカー）→パソコンコーナー→相談室→メールボックス→受付（スタッフルーム）。前半と後半で交替して、館内全てを見て頂きました。その後「どんな仕事をしてますか？」「コラビアというニックネームは誰がつけたんですか？」などの質問があり、最後は、「コラビアクイズ！」にチャレンジ。まとめとして、コラビアは誰でも使用できるスペースがあり、いつもでも遊びに来てほしいこと、随時イベントを開催しているので興味があれば参加してほしいことをお伝えしました。

２．「こらび庵」衛生講習会開催

日時：2016 年 6 月 27（月）10：00～12：00
講師：愛知県知多保健所　宮崎様
参加者：14 団体（27 名）
「こらび庵」衛生講習会として日頃こらび庵で活躍しているシェフさんに一年に一度集まっていただき講習会を開催しました。愛知県知多保健所　宮崎様に食中毒予防の３原則①ウイルスをつけない②菌を増やさない③菌・ウイルスをやっつける、などとても分かりやすくお話しして頂きました。またブラックライトを使い手洗いの大切さも学びました。
その後天ぷら火災を想定した消防訓練を行い、こらび庵内に設置している簡易消火器を使い実際火を消していただきました。使ったことのない方もいて『こんなに簡単なんだ』声も頂きました。キャロットさん手作りケーキを頂き皆さん笑顔で美味しいと言って頂きました。

３．エンジョイこらび庵　２０１６

開催期間：7/20(水)～7/31(日)　　参加者総計　709 名
7/20(水)「かわいいカップちらしかキャラ弁」ｷｬﾛｯﾄ 32 名
「お楽しみカレーランチ」　ｷｬﾛｯﾄ 25 名
7/21(木)「動いて見えるアニメ作りに挑戦」
子育て支援サークルあそびのいっぽ 14 名
「家族で幸せスムージー」ｸﾞﾘｰﾝﾊｯﾋﾟｰｸﾛｰﾊﾞｰ　6 名
「２種類の手作りパンはいかが」
N.O.W IN CHUBU 15 名
7/22(金)「熊本を応援！サンドウィッチ作り」
NPO 法人クリエイティブ・あいち　9 名
「手作り漬物で楽しく交流」
大府市地域婦人団体連絡協議会菜の花ｸﾗﾌﾞ　22 名
7/23(土)「流しソーメン食べ放題」めん’Ｓクラブ　147 名
7/24(日)「韓国料理を作ってみよう」　ｷｬﾛｯﾄ　18 名
「韓国料理ランチ」　ｷｬﾛｯﾄ　27 名
7/26(火)「こらび庵カフェオープン」ﾊﾟｯﾁﾜｰｸ&ﾅﾁｭﾗﾙ　22 名
「粘土でリアルな海鮮丼を作ろう」
ﾐﾆﾁｭｱクレイクラフトCHAMI　30 名

「食べるアロマでお茶会」　香油　8 名
7/27(水)「夏野菜のかくれんぼカレー」　アリエス　27 名
7/28(木)「楽しいお話し会とわくわく工作」ﾏｼｭﾏﾛｰｽﾞ　19 名
絵の具遊び『ｽｲｶを描こう』わくわく 5ART　17 名
「クロックドムッシュを作ろう」　ﾌｪﾘｰﾁｪ　23 名
「トールペイントで作るマグネット」ﾐﾙﾌｨｰﾕ　6 名
7/29(金)「廃食用油で固形石けんを作ろう」
大府生活排水クリーン推進委員　25 名
「大府特産の夏野菜でヘルシー料理」
市地婦連菜の花ｸﾗﾌﾞ　50 名
「学び、作る、味わう、大府の学校給食」ｺﾗﾋﾞｱ　18 名
7/30(土)「親子そば打ち体験」　めん’Ｓクラブ　11 名
「オリジナルパフェを作ろう」　食人　73 名
「ポケットサンドウイッチ教室」　食人　12 名
7/31(水)「ﾌﾞﾙｰﾍﾞﾘｰ狩りに出かけよう」　Ｙ’Ｓｷｯﾁﾝ　39 名
「大府の特産・ぶどうを味わおう」
大府市役所農政課＆野菜ｿﾑﾘｴﾍﾞｼﾞﾎﾟｯｸﾙ　14 名

４．ＡＥＤと心肺蘇生と避難訓練

日時：2016 年 9 月 7 日(水)15：30～16：45
参加者：17 名（内コラビアスタッフ 9 名）
講師：大府市消防署
今年も大府市消防署の方に来ていただき、教えていただきました。人形を使った心肺蘇生では、「こんなに強く押すんだったっけ？」「押す位置ここだっけ？」と思い出しながら真剣に学びました。意識が戻ったあと後遺症が残らないように脳に酸素を送るため、とにかく救急車が来るまで心肺蘇生を続けることが大事だと教えて頂きました。
避難訓練には館内にいた高校生 1 名にも協力してもらい、大地震発生→火事発生という流れで、避難指示、消火、119 番通報の訓練を行いました。

５．コラビア交流会～ＣＡＦＥ語らっテ～

日時：2017 年 1 月 22 日(日)9：30～12：30
参加者：47 名
講師：加藤武志さん(コミュニケーションデザイナー、まち楽房有限会社)

コラビアに登録している市民活動団体、市民、自治区・コミュニティ、行政の方など、いろいろな分野で活動する人達が集まり交流を深めました。最初はアイスブレイクの時間です。参加者の緊張も吹っ飛ぶくらい「笑い」がありました。やわらかな雰囲気の中、場所を変えて「ＣＡＦＥ語らっテ」の時間になりました。４名から５名のグループに分かれて、決まったテーマでのお話タイムです。ケーキやコーヒーを飲みながら、自分の想いを伝えていっぱいの交流がありました。

６．第８回コラビアまつり
日時：2017 年 3 月 5 日（日）10：00～15：00
来場者：約 800 名
参加団体：36 団体（過去最高お参加団体数）
ボランティア：53 名

とても暖かいぽかぽかの天気で、過去最高の 800 人に来場いただきました。
バルーンアーチが会場入り口の目印です。受付ブースでスタンプラリーカードとチラシ、ファンドレイジングの投票券、ぜんざい引換券をもらい、会場内を周ります。
館内・駐車場と敷地内全部がまつり会場で、36 団体それぞれのブースそしてステージ企画にはたくさんの来場者が立ち寄り、各ブースではそれぞれ作品展示・販売、飲食ブース、体験コーナーと盛りだくさんの内容で、楽しんでいただけました。
駐車場の案内は豊田自動織機ボランティアさんはじめ、大人の男性ボランティアが会場からは見えないところで陰で支えて頂きました。学生ボランティアも各ブース等で大活躍でした。今年は特に参加団体さんから学生ボランティアさんの活躍を耳にしました。総合案内所やファンドレイジング投票箱にも大人のボランティアさんにお手伝いいただきました。おぶちゃんいもメンも今年も遊びにきてくれて、ステージや抽選会で盛り上げてくれました。
コラビアまつりの目玉企画であるファンドレイジングイベントでは、受付で配布した投票券が 438 枚、100 円で販売した投票券が 254 枚の投票がありました。来場者の応援したいという気持ちが活動資金として団体さんに渡りました。

７．第５回心ひとつに 3.11
日時：2017 年 3 月 11 日（土）
コラビア会場：11 時～14 時　来場者 250 人
新池会場：17 時～19 時　　来場者 250 人

3 月 11 日、あの日から 6 年が経ちました。
今年もコラビアで「第 5 回心ひとつに 3.11」を開催しました。
お昼のコラビア会場は、東北物産市、キャンドルランタンづくり、東北にちなんだ食の提供、交流会などの企画があり、多くの人でにぎわいました。また、14 時 46 分には心をひとつに、東北へ思いを寄せ全員で黙とうしました。

夕方には新池に会場を移し、読経に合わせ、震災の犠牲になった方々に祈りをささげました。そして池の斜面に「心ひとつに 3.11　絆を力に大府より」という灯

火文字がくっきり浮かび上がるころ、ポケットパークで HIROMI さんのピアノの生演奏が始まりました。 HIROMI さんの優しい歌を聞いた後、最後に「花は咲く」を合唱しました。風の強い、寒い夜でしたが新池にも多くの人に集まって頂き、「心ひとつに」なるときを過ごすことができました。	

８．第 8 回コラビアまつり反省会 日時：2017 年 3 月 18 日(土)10：00～11：30、(11：30～13：00 懇親会) 参加者：22 団体 26 名 参加団体が集まり、コラビアまつりの振り返りと来年にむけての意見交換をしました。5 人程の小グループに分かれ話し合ってもらい発表もしてもらいました。意見の中には、「ボランティアさんの動きが活発でとても良かった」「会場の入り口・受付がわかりにくい」「森岡公民館との連携はできないか」「ステージに時計がほしかった」「受付 2 ヶ所はいい」など、昨年までの反省会では出てこなかった細かな意見が出ました。人によって団体によって同じことについても真逆の意見もありましたが来年度のコラビアまつりに生かしたいです。 反省会のあとは希望者でこらび庵のランチを食べながら交流しました。14 名と反省会の半分ほどの人数でしたが、時間いっぱいまで話しがはずみ、とても盛り上がっていました。	

Ⅳ．まとめ

来館者数は、前期、後期ともほぼ前年度並みで推移し、最終的に27,119人（伸び率 99.2%)と目標226,000人以上を達成できました。

その他の目標も相談件数250件以上、マッチング22件以上、新規 NPO 団体登録1団体以上に対し実績は、相談件数468件、マッチング 22 件、新規 NPO 団体 2 団体といずれも目標を達成できました。

特に相談件数は、伸び率170％と急激に増加してきています。その理由は日頃からのスタッフの声掛けなど世間話から困りごと相談などにつながっており、登録団体さんとの信頼関係がますます深まってき

ている証だと思います。
また、指定管理第 3 期目（H29～H31 の 3 か年間）を迎えるにあたり休館日にスタッフ研修を実施しました。
3 期目の市民センター活動方針を指定管理者申請書に基づき新たに取り組む施策を全員で確認し、平成29年度の事業計画について話し合い、スタッフ一人一人が新規に取り組む課題、継続する事業などを確認し意思統一を図り第3期目に臨みます。

● 豊橋市民センター、オレンジ・プラザ

センター概 要

場　　所 ： 豊橋市松葉町二丁目63番地
電　　話 ： 0532－56－5141
ファクス ： 0532－56－5161
E－MAIL ：npo-info@tees.jp
U　R　L ： http://www.tees.ne.jp/~npo-info/
開館時間 ： 9時～21 時
休　館　日 ： 毎週月曜日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)
主な施設 ：1F 事務室・談話室・多目的トイレ・公衆電話
2F オレンジ・プラザ
・印刷機、紙折り機、裁断機、ロッカー等
・談話ルーム、会議室、情報コーナー
3F ミーティングルーム4室
4F 小会議室(24人)、中会議室(63人)
5F 大会議室(90人)・講師控室
6F 多目的ホール(99人)
備品:プロジェクター、スクリーン、テレビ、ビデオ、
CDラジカセ、DVDプレーヤー、姿見

豊橋市民センター
カリオンビル

Ⅰ.センターの役割と任務

1. 委託業務名・目的

(1)業　務　名 ：豊橋市民センター、オレンジ・プラザの管理運営委託

(2)事業の目的 ：**「豊橋市民センター」**
市政と市民の「かけはし」となるべく、市街地の活性化を目的に利用者数および利用率の促進を図る。

「オレンジ・プラザ」
様々な分野で活躍する市民ボランティア活動団体を支援するとともに、活動に対する市民の意識啓発を図り、市民ボランティア活動を推進する

(3)実施期間 ：平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日(指定管理＝平成 29 年 3 月 31 日迄)

2. 豊橋市民センター、オレンジ・プラザの任務

「豊橋市民センター」

(1)会議室の予約、利用許可、清掃業務

①予約管理システムの運用、利用許可証の発行・集金、使用後の清掃

(2)施設の維持管理

①施設や備品に関する点検・保全・在庫管理

②施設の施錠、非常時の対応

「オレンジ・プラザ」

(1)情報の収集・提供業務

①「どすごいネット」(東三河ボランティア情報サイト)の管理運営、登録団体の入力作業、サイト利用操作方法の説明など

②豊橋市民センター、オレンジ・プラザのHP、ブログ作成及び維持管理

③メールマガジン及び情報紙(アーリーレポート)等の発行

(2)活動場所の提供業務

①談話室の予約受付、貸出し等利用申し込みの対応

②印刷機器等設備の利用に関する事務

(3)意識啓発・普及業務

①意識啓発活動の実施(業務全体を通じて)

②啓発チラシパンフレット等の作成・更新

(4)人材育成・交流業務

①人材育成のための研修会を企画・運営(スキルアップ講座等)

②市民ボランティア活動団体の交流機会を増加するネットワーク構築

(NPO・ボランティア活動に精通した講師をお呼びし、車座集会を開催)

(5)相談・連絡調整業務

①市民ボランティア活動に関する市民からの相談窓口としての機能(マッチング活動)

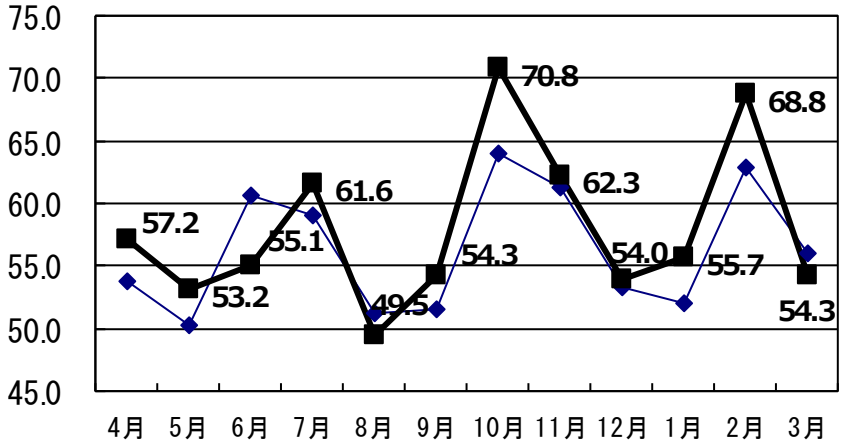
②NPO法人認証取得のための相談への対応

Ⅱ．実績および昨年度比較

区分	項目	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		年間計
		H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	
市民センター	利用率	55.2%	54.7%	55.2%	54.1%	62.6%	59.7%	59.7%	56.9%	58.0%
	利用者数	22,063	20,876	21,273	21,288	24,063	25,534	25,541	22,523	92,484
オレンジ・プラザ	利用者数	918	664	1,048	711	1,913	1,517	837	898	4,726
	相談件数	36	27	24	34	27	17	42	38	129
	団体登録	10	8	8	8	6	4	5	5	29
	マッチング件数	4	7	5	7	2	3	4	6	15

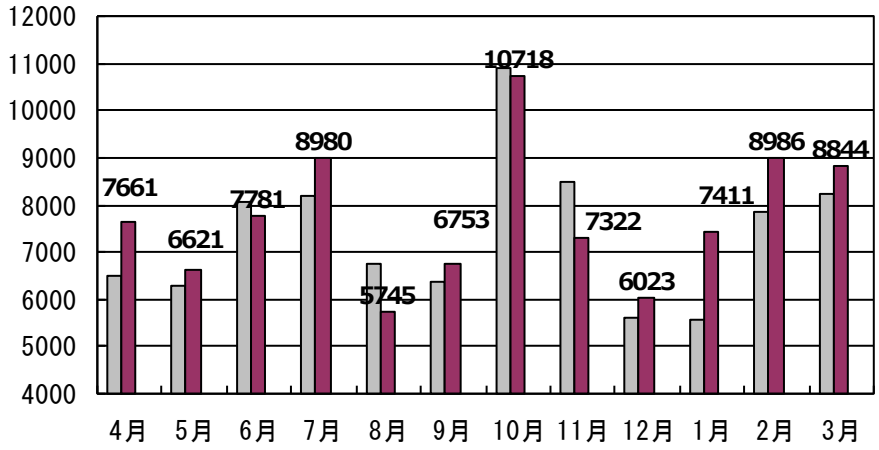
※目標値　市民センター　・利用率　５７％　・利用者数　９１，０００人
市民活動プラザ　・利用者数　４，０００人

豊橋市民センター　利用率



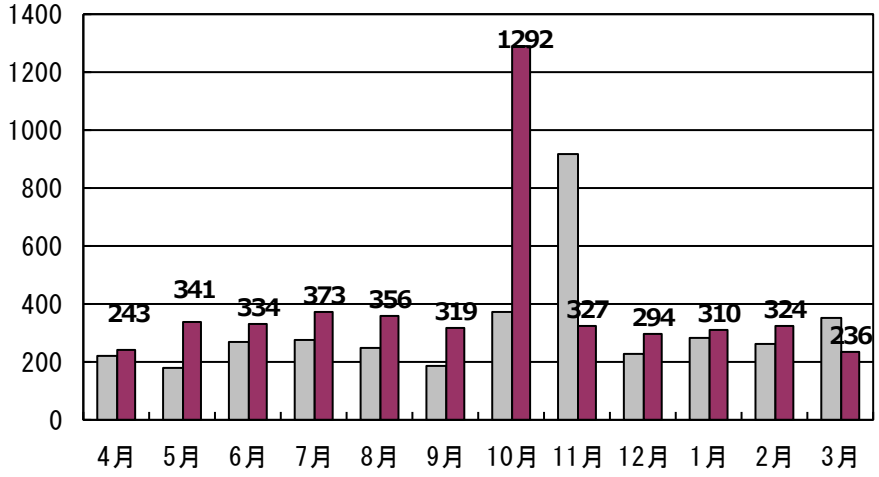
Ｈ２８：　５８．０％
Ｈ２７：　５６．３％

豊橋市民センター　利用人数



ｈ２８：９２，４８４人
ｈ２７：９０，２２１人

市民活動プラザ（オレンジプラザ）　利用者数



Ｈ２８：４，７４９　人
Ｈ２７：３，７９０　人

Ⅲ．実施したイベント

【第１四半期】

（１）地域連携　講演会

日　時：2016 年 4 月 23 日(土) 10：00～12：00
場　所：豊橋市民センター 5Ｆ大会議室
講　師：NPO 法人地域福祉サポートちた
　　市野 めぐみ 氏
参加者：20 名（参加者 14、スタッフ 3、市役所 3）
概　要：　地域連携を通じて団体が抱える地域課題の解決を考える講座を実施した。
　講師には特定非営利活動法人地域福祉サポートちた事務局長の市野めぐみさんをお招きし、実体験に基づいた地域連携の実例についてお話しいただいた。
　後半では参加者団体同士の特性を知り、連携して活動すること力を実感してもらうためのワークショップを実施した。

ワークショップのようす

（２）新規登録団体説明会

日　時：2016 年 5 月 20 日(金)
　　第一部 10:00～11:00 / 第二部 19:00～20:00
場　所：豊橋市民センター2 階 会議室
参加者：18 名（参加者 15、スタッフ 2、市役所 1）
概　要：オレンジプラザに団体登録するとどういったモノ・コトが利用できるようになるのか、またオレンジプラザの役割や機能についても説明した。
　市民活動支援として利用できる輪転機・裁断機･紙折り機など実際に皆さんに使い方を覚えてもらうことができた。

スタッフから説明を受ける団体

（３）オレンジプラザ団体交流会

日　時：2016 年 6 月 25 日（土）13:00～16:00
場　所：豊橋市民センター　5Ｆ大会議室
講　師：NPO 法人愛知ネット理事 大野 裕史 氏
参加者：15 団体（33 名、スタッフ 6 名）
概　要：①市内の市民活動団体が抱えている課題を解決するための側面的支援を行うことで、市民活動が活発になり、公共の担い手を増やす。
②豊橋市内を中心に活動している市民活動団体のニーズ、求められているスキルに応じて団体職員としてのスキルを獲得、向上させる。
③当センターに登録し、市内を中心に活動する団体同士の結びつきを強め、より協働して活動できるようにする。
・市民活動団体活動発表
・ワールドカフェ体験会
・成果の示し方、ゴールの設定学習会

参加者によるグループワーク・発表

（４）パソコン講座（ｓｎｓの使い方）

今さら聞けない SNS（ソーシャルネットワークサービス）』

～災害時にも役立つ！　使ってみようツイッターと LINE～

日　時：2016 年 6 月 17 日（金）13:30～15:30
場　所：豊橋市民センター4Ｆ　小会議室
講　師：あいちＩＣＴ推進協会　村松　葉子氏
参加者：11 名（参加者 9、講師 1、スタッフ 1）
概　要：個人のスマートフォン・タブレットを利用して、市民活動や防災に役立てられるように SNS ツールの TWITTER の基礎を学ぶ講座。基本操作に始まり、つながりの広げ方、情報の取得方法などを学び、市民活動団体の活動に役立てていただいた。

ツイッターの使い方を学ぶ参加者

講師から指導を受ける参加者

【第２四半期】

（５）スキルアップ講座

社団法人 VS ＮＰＯ法人　あなたならどの法人を取りますか？

日　時：2016 年 7 月 22 日（金）19:00～20:30
場　所：豊橋市民センター2Ｆ　会議室
講　師：NPO 法人愛知ネット監事　田中　肇 氏
参加者：21 名（参加者 11、スタッフ・市役所 9）
概　要：社団法人とＮＰＯ法人の違いを学び各団体にとってどちらが有益なものなのか、また立ち上げるために必要なこと等を、田中肇氏を講師に迎え講座を実施した。

真剣に講座を聴く参加者

（６）車座集会

外国人の子育て映画上映会＆監督とのコラボトーク

日　時：2016 年 7 月 29 日（金）18:00～20:30
場　所：豊橋市民センター6Ｆ　多目的ホール
講　師：監督　津村 公博氏、NPO 代表　河村 八千子氏
参加者：29 名（参加者 22、スタッフ・市役所 5、講師 2）
概　要：デカセギ第２世代の子育てをテーマにしたドキュメンタリー映画である『A ESCOLHA』の上映会を行った。続けて、本作を撮られた津村氏と、豊橋市を中心に外国人支援をされている河村氏とのコラボトーク、来場者との意見交換を行った。

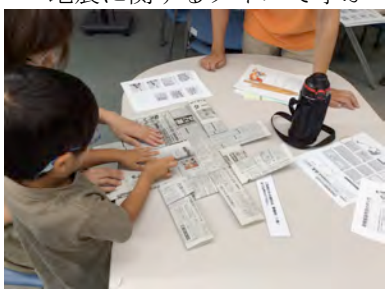
配布したチラシ

（７）防災講座

おやこで学ぶ！おやこで作る！なつやすみ防災教室

日　時：2016 年 8 月 20 日（土）10:00～11:30
場　所：豊橋市民センター6Ｆ　多目的ホール
講　師：NPO 法人愛知ネット理事　横山辰夫 氏
参加者：19 名（参加者 14、スタッフ・市役所 5）
概　要：災害を「地震」と「水害」の２つにスポットをあて、地震の起こるメカニズムや、水害に関する弊害などを、クイズを交えて子どもむけに説明を行った。また、新聞紙や牛乳パックなどの身近な物を使用した防災グッズクラフトを行い、スリッパや座布団、笛などを作成した。

地震に関するクイズで学ぶ


新聞紙でスリッパをつくる

（８）スキルアップ講座

プロが教えるデザイン講座

日　時：2016 年 9 月 23 日（金）13:00～15:00
場　所：豊橋市民センター6Ｆ　多目的ホール
講　師：株式会社 meets　松原　圭 氏
参加者：14 名（参加者 11、スタッフ 3）
概　要：イベントなどで魅せる広報物のレイアウトの仕方について、プロの技を市民活動団体向けにわかりやすくご紹介していただいた。また、実際に模造紙を使ってイベントなどで使える広報物をその場で作っていただいた。

デザインのポイントを説明

参加者全員がパネルづくり

【第３四半期】

（９）車座集会

外国人の子育て映画上映会＆監督とのコラボトーク

日　時：2016 年 11 月 15 日（火）14:00～15:30
場　所：豊橋市民センター4Ｆ　中会議室
講　師：愛知教育大学大学院 准教授　川北　稔 氏
参加者：49 名（参加者 40、スタッフ・市役所 8、講師 1）
概　要：ひきこもりの現状や支援の現場ついて、川北稔先生を講師に迎えて、実際に関わってこられた居場所や当事者の事象を交えてお話ししていただいた。その後、経験者による実体験の話を加え、支援活動団体、当事者・経験者を含む参加者で意見交換を行った。

（10）オレンジ・フェスタ 2016
～みんなでやろまい市民活動～

日　時：2016 年 10 月 30 日（日）10:00～16:00
場　所：豊橋市民センター全館・松葉公園
参加者：参加団体 31（市民団体 26、飲食店 2、協賛企業 3）
参加者 945 名
概　要：日頃の活動内容を市民に伝える・市民活動団体同士や団体と市民との交流を図ることを目的とし体験型ブースやスタンプラリーなどで、市民活動を楽しみながら親しめる企画を展開した。

カリオンビル玄関前

出展する市民活動団体

トヨッキーとボランティア

ボルダリングで楽しむ子ども

【第４四半期】

（11）パソコン講座
「EXCEL 初級講座」

日　時：2017 年 1 月 20 日（金）13:30～15:30
場　所：豊橋市民センター4Ｆ　小会議室
講　師：パソコープ　村松　葉子 氏
参加者：23 名
概　要：EXCEL のさまざまな機能を活用して市民活動団体のイベントや会議等で利用していただけるような実践講座を開催した。

（12）スキルアップ講座
「もしも、あなたがエフエム豊橋に出演したら」

日　時：2017 年 1 月 27 日（金）19:00～20:30
場　所：豊橋市民センター4Ｆ　中会議室
講　師：エフエム豊橋パーソナリティー　渡辺 欣生氏
参加者：23 名
概　要：エフエム豊橋のパーソナリティー、よっちゃんこと渡辺欣生さんに講師を依頼し、実際にラジオ出演をするまでの流れの説明と参加者の中から３名出ていただき実演をした

楽しくわかりやすく説明してくれました。

（13）車座集会

全ての人が働ける社会にするために私たちにできること

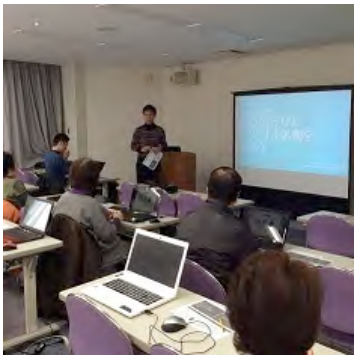
日　時：2017 年 2 月 11 日(土) 13:00～15:00
場　所：豊橋市民センター４階 中会議室
講　師：社会福祉法人共生シンフォニー常務理事
　　中崎 ひとみ 氏
参加者：28 名
概　要：上記テーマで現場での取り組みや新しい試みについてお話していただきました。その後グループで話し合いをした。

グループでの話し合いの様子

（14）パソコン講座

「オリジナル名刺作り講座」

日　時：2017 年 2 月 26 日(日) 13：30～15：30
場　所：豊橋市民センター4Ｆ 中会議室
講　師：株式会社 meets 松原 圭 氏
参加者：12 名
概　要：普段お使いのパソコンを各自持参いただき、「ラベル屋さん」という簡単に名刺が作れるアプリを利用しての講座でした。最後には出来上がった名刺をサンプルとして印刷して渡しました。



オリジナル名刺が出来るのが楽しみ

（15）防災講座

「もしものときの地域のそなえ」

日　時：2017 年 3 月 4 日(土) 14：00～15：30
場　所：豊橋市民センター4Ｆ 中会議室
講　師：NPO 法人愛知ネット事務局長　南里 幸 氏
参加者：14 名
概　要：熊本地震での災害救援活動の事例紹介と、講師が救援活動を通じて学んだ日頃の備えの大切さや地域のつながりの大切さといった内容にスポットを当て講話を行った。その後、日ごろの備えについて話し合った。

話し合いの様子

（16）市民センター（貸し会議室）事業

カリオン春の文化祭

日　時：2017 年 3 月 5 日(日)～11 日（土）
場　所：豊橋市民センター5F・6F 及びロビー
参加団体: 作品展 16 団体・117 名・261 作品
音楽会　7 団体・59 名
入場者 :作品展 581 人　音楽会 89 人
概　要：日ごろから市民センター（貸し会議室）を利用し教室を開催している団体による作品展と音楽会を行った。
この文化祭に向けて日ごろから練習したり、作品を作り上げているかたもおり、とても楽しみにされている様子が伺えた。

Ⅳ．まとめ

市民センター…定期的にご利用いただける団体が増えてきたため利用率､利用者ともに増加しており、順調な利用が続き、今年度は利用率 58%と目標の 57%を達成することが出来ました。（昨年度 56.3%）
利用者も 92,484 人であり目標の 91,000 人を超えることが出来ました。
利用者アンケート調査でも、スタッフの対応・利用のしやすさは 90%を越えており日ごろから丁寧に接客・対応している結果だと思われます。
来館者に惜しまれながら指定管理業務を終えることができました。ありがとうございました。

オレンジプラザ…定例会等に利用される市民活動団体が増えてきており、活動プラザの活性が
（市民活動プラザ）見られました。利用人数も 4,726 人と目標の 4,000 人を達成することが出来ました。（昨年度 3,790 人）
団体登録に関しては、純粋な市民活動というより、プラザの印刷利用や会議室の無料開放の利用を目的としたところが増えてきているように思われました。相談に関してはスタッフを指名して相談される方が増えてきました。内容は補助金申請の相談が多くありました。
登録団体へ指定管理の交代を伝えるとともに引き継ぎ業務を無事遂行しました。

●碧南市市民活動センター【サポプラ】

センター概 要

場　　所 ： 碧南市山神町 8 丁目 35 番地
　　へきなん福祉センターあいくる内
電　　話 ： 0566－42－6561
ファクス ： 0566－42－6571
E－MAIL:　info@hekinan-plaza.jp
ホームページ:http://hekinan-plaza.jp
開館時間　火～土曜日　9時～21時
日曜日・休日 9時～17時
休 館 日 :毎週月曜日、
年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)
主な施設 :ミーティングコーナー、おしゃべりコーナー、情報コーナー、印刷室

Ⅰ.センターの役割と任務

1. 委託業務名・目的

(1)業 務 名 ： 碧南市市民活動センター指定管理業務

(2)事業の目的:利用者をはじめとした市民ニーズの把握及びこれを十分に反映した運営・支援を実現し、市民に必要な情報提供等を行うことで、市民活動センターが市民活動、ボランティア活動、町内会活動等(以下「市民活動等」という。)を支援することを目的とする。

(3)実施期間 :平成 28 年4月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
(受託期間:平成 31 年 3 月 31 日まで)

2. 碧南市市民活動センターの主要事業

(1)市民活動等に関する情報の収集及び提供並びに相談
(2)市民活動等及び活動資金に関する助言
(3)市民活動等に関する研修会及び講座の実施
(4)市民活動等に関する活動場所及び設備の提供
(5)市民活動等を担う人材の育成
(6)市民活動等を行う市民相互の連携及び交流の促進
(7)災害時のボランティアセンター設置時における社会福祉協議会との連携および運営支援
(8)(1)から(7)に掲げるもののほか、市民活動等の推進に必要と認める支援等

Ⅱ．目標・重点施策と実績

■ねらい・目標・重点施策

ねらい
市民活動団体・個人からの相談に対応し、相互の連携・協働に寄与し、市民から信頼される。

目　標
(1)相談件数　　530件以上
(2)マッチング件数　　155件以上
(※)利用者数　　目標値としては定めず、実績を参考値として取り扱う

重点施策
(1)相談件数、マッチング件数の目標を意識した日常業務を行う
(2)団体・個人のスキル向上を積極的に支援する
(3)企業、行政、自治会、他団体との連携・協働を促す

■目標と実績

項目	利用者合計	相談件数	マッチング件数	MET 利用件数	印刷室利用件数	登録団体数
16年度　実績値	**10,068**	**470**	**131**	**455**	**99**	**206**
対前年同期比	**108%**	**93%**	**89%**	**125%**	**91%**	**－**
目標達成率	**－**	**89%**	**85%**	**－**	**－**	**－**
年間　目標値		**530**	**155**	－	－	－
15 年度　実績値	9,271	506	148	365	109	182
14 年度　実績値	6,777	477	140	294	135	160
13 年度　実績値	4,896	285	116	511	125	119

※16 年度の利用者合計欄では、7 月 3 日のあいくるまつりの来場者：3,500 名を差し引いて表示してあります。これを加味すると利用者合計は 10,933 名となります。

※15 年度の利用者合計欄では、6 月 28 日のあいくるまつり：3,000 名と 10 月 25 日のハロウィーンウォーク：800 名と 3.11 を忘れない@へきなん：680 名を差し引いて表示してあります。これを加味すると、利用者合計は 13,751 名となります。

※14 年度の利用者合計欄では、4 月オープンデイ：360 名、6 月あいくるまつり：3,000 名、10 月ハロウィーン：856 名、3 月３．１１を忘れない@へきなん：490 名を差し引いて表示してあります。これらを加味すると利用者合計は 11,483 名となります。

相談件数とマッチング件数の年間目標値をクリアすることができなかった。昨年度の年度末、目標値を達成させるための駆け込みが行われた。この駆け込みを除くと、年間を通して、14～16 年度はほぼ定常的な数値で推移してきている。そこで、今年度は、年度末の駆け込みを行わず、年間を通しての平常値で実績を確定させることにした。

Ⅲ．実施したイベント

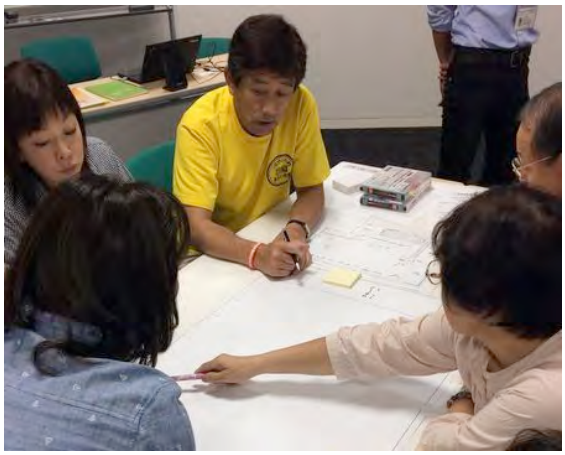
■車座集会

1．へきなん探訪！！第 1 回てらまちストーリー
日　時:2016 年 4 月 10 日(日)9:30-15:30
場　所:碧南市内を巡回するバスツアー
講　師:大浜てらまち案内人の会
　　平野敏子氏
参加者:19 名

概　要:バスをチャータして碧南市内の名所・旧跡を巡りました。午前中は大浜てらまちを散策し、午後は応仁寺、油が淵、無我苑を散策し新緑を愛でながらお抹茶をいただきました。碧南にお住まの方でも子供のころは遊び場になっていたお寺や、神社があるのは知っていても歴史があり由緒ある寺がこんなに身近のあったことを再確認できた事は、本当に良かったと目を輝かせていました。

2．被災地の話を聞いて、HUG を体験してみよう！
日　時:2016 年 10 月 15 日(日)14:00-16:00
場　所:へきなん福祉センターあいくる会議室
講　師:内藤瑶氏(愛知ネット事務局員)
　　木村紘治氏(碧南市市民協働部防災課)
参加者:14 名

概　要:前半は、過去に起こった巨大地震に関する話や、内藤さんが被災地で活動した際のエピソードなどを聞きました。後半は、避難所運営ゲーム「HUG」を体験しました。ゲームを始める前の通路決めで一苦労。事前に話し合いをし、準備をしておくことの大切さに気付きました。
アドバイザーの木村さんからは、碧南市の防災倉庫にあるトイレなどについてお聞かせいただき、碧南市の現状を学ぶことができました。



3．誰にも言えない子供たちの声、聴いてみませんか？
～チャイルドラインってすごい！～
日　時:2017 年 1 月 26 日(木)10:00-12:00
場　所:へきなん福祉センターあいくる会議室
講　師:神谷由美子氏
　　(NPO法人おやこでのびっこ安城)
参加者:14 名
概　要:チャイルドラインには、なんと、1 日約 200 件の電話がかかってくるそうです。講師から、チャイルドラインの内容を簡単に聞いた後、電話をかける子ども役、話を聴くチャイルドラインスタッフ役、2 人を観察する役、3 人一組になったワークショップを行いました。体験してみると、いろんなことに気づくんですね！
今回の車座集会は、会場の後方にキッズスペースを設けました。小さなお子さんは楽しそうに遊び、保護者の方も安心して

車座集会にご参加いただけました。	
4．認知症サポーター養成講座 日　時:2017 年 3 月 4 日(木)10:00-11:30 場　所:へきなん福祉センターあいくる会議室 講　師:井上　卓氏(キャラバンメイト) 参加者:11 名 概　要:講師から認知症について、実際の事例に沿って、理解する、考える、支えるという観点から、いろいろとお聞きしました。認知症サポーターとは認知症の基本的な知識を持ち、認知症の人やその家族の身近な理解者として自分の出来る範囲で応援する人です。偏見を持たず、温かい目で見守ることがスタートです。一言声をかけることが大切なのです。今や他人事ではない認知症…自宅に帰ってから、家族で認知症について考える時間をもっていただけたことと思います。	
5．補助金を上手に使おう **～みなさんの市民活動を応援します～** 日　時:2017 年 3 月 12 日(土)10:00-11:30 場　所:へきなん福祉センターあいくる会議室 講　師:河原　睦氏(碧南市地域協働課) 参加者:8 名 概　要:補助を検討する 3 団体 5 名、活動報告の 3 団体 3 名の総勢 8 名で、市民公益活動活性化補助金の活用についてお聞きしました。その後、実際に補助金交付を受けた 3 団体から良かったこと、苦労したことなどの生の声を聴かせていただきました。質問タイムも真剣にデスカッションが繰り広げられました。	

■スキルアップ講座

1．明日からできる！講師にチャレンジ講座 日　時:2016 年 5 月 28 日(土)13:30-15:00 場　所:へきなん福祉センターあいくる会議室 講　師:舟橋正浩氏 　　(株ソーシャルキャピタルインテグレーション代表) 参加者: 15 名 概　要:研究者であり、社長であり、イクメンであり･･･様々な顔を持つ舟橋氏から、「講座とは？」を紐解いていただきました。この講座の冒頭に、「人に価値ある話を伝えて、次のアクションにつなげてもらうまでが講座だ」というお話をいただきました。そして、たくさんの「コツ」を教わりました。	

2．第 1 回参加型まちづくり担い手講座 **ファシリテーター養成コース** まずは参加型を体験してみよう ～ベースはコミュニケーション～ 日　時:2016 年 6 月 25 日(土)12:30-16:30 場　所:へきなん福祉センターあいくる会議室 講　師:平野木惠氏(愛知学院大学非常勤講師) 参加者:17 名 概　要:ファシリテーターの養成と、コーディネーターの養成を通し、まちづくりを自分ごととして楽しむことのできる担い手を育成する講座が全5回コースで始まりました。昨年のファシリテーション講座を受講し、更なるスキルアップを目指した 11 名、ファシリテーションって何？まちづくりを目指したい！と講座の受講を決心した 6 名の総勢 17 名の参加者が大きな円を描き、始まりました。 グループワークのラストには個々に宛てたメッセージの交換もし、お互いを尊重して第 1 回目の講座は終了しました。	
3．第2回参加型まちづくり担い手講座 **ファシリテーター養成コース** なぜ参加型？ 参加を促進するファシリテーターのマインド＆スキル 日　時:2016 年 7 月 23 日(土)12:30-16:30 場　所:へきなん福祉センターあいくる会議室 講　師:平野木惠氏(愛知学院大学非常勤講師) 参加者:12 名 概　要:今回のねらいは、自己概念を拡げ、「自分」と「他者」「社会」との「つながり」と「関わり」をふりかえり、また「参加の満足度」を作るものは何かをワークしました。さらに、「となりのまじょのマジョンナさん」の絵本を使って、よりよい参加型とファシリテーターに必要なマインドとスキルも学び、あっという間の 4 時間でした。	
4．第3回参加型まちづくり担い手講座 **ファシリテーター養成コース** 人と人、人とまちをつなぐ企画人になるには？ 今、まちづくりに必要なこと 日　時:2016 年 8 月 27 日(土)12:30-16:30 場　所:へきなん福祉センターあいくる会議室 講　師:平野木惠氏(愛知学院大学非常勤講師) 参加者:12 名 概　要:今回の講座より、具体的にまちづくりの進め方のワークが始まりました。誰もが暮らしやすい社会(まち)のビジョンを考え、社会とまちの今をふりかえりました。受講者個々の 10 年後、20 年後の社会のビジョンが掲げられました。みんな真剣にまちづくりに取り組んでいる姿がとても頼もしく感じます。	

5．第4回参加型まちづくり担い手講座 **ファシリテーター養成コース** まちづくりの好事例から学ぼう ～まちがさらに輝くアクションプランを考える～ 日　時:2016 年 9 月 24 日(土)12:30-16:30 場　所:へきなん福祉センターあいくる会議室 講　師:平野木惠氏(愛知学院大学非常勤講師) 参加者:20 名 概　要:今回の講座は、現在まちづくり活動をしていらっしゃる団体さんの事例をお話ししていただきました。昭和未来会議(知立市)から佐藤浩二さん、刈谷市まちづくりコーディネーター(刈谷市)から加藤智子さん、男女共同参画事業(大府市)から鷹羽富美子さん、NPO法人こどもNPO(名古屋市)から青野桐子さんをお迎えしました。事例発表のあとの質疑応答の時間は活発な意見交換の時間となり、そのあとの講義の時間を費やしてしまうくらいでした。 最後は全員で記念撮影をし、お互いにまちづくりを目指す仲間として目を輝かせた 1 日となりました。	
6．第5回参加型まちづくり担い手講座 **ファシリテーター養成コース** まちづくりの好事例から学ぼう ～まちがさらに輝くアクションプランを考える～ 日　時:2016 年 10 月 22 日(土)12:30-16:30 場　所:へきなん福祉センターあいくる会議室 講　師:平野木惠氏(愛知学院大学非常勤講師) 参加者:10 名 概　要:まちづくりの担い手を育成する講座の全5回講座が終了しました。今までの講習を振り返り、ワークショップとその後にファシリテートを体験。いざ、実践してみると戸惑うことも多々ありました。まちづくりの担い手としてファシリテーター宣言を行い、全講座を修了しました。	
7．バルーンアートに挑戦 **クリスマスを手作りしよう** 日　時:2016 年 12 月 23 日(金)13:30-15:30 場　所:へきなん福祉センターあいくる会議室 講　師:土谷千代子氏 サポプラ登録団体:グリーンピース(講師に挑戦) 参加者:16 名 概　要:グリーンピースの土谷さんを迎え、「バルーンアートに挑戦・クリスマスを手作りしよう！」がおこなわれました。HAPPY CHRISTMAS を迎える準備のためにバルーンアートでクリスマスツリーと雪だるまを作りました。バルーンと格闘しながらも・・・出来上がった時の充実感。参加者のみなさんから最高の笑顔のプレゼントをもらいました。	

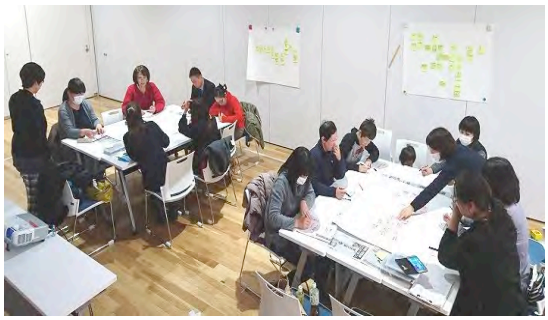
■その他イベント

1．ここタイム　防災スペシャル 日　時:2016 年 5 月 17 日(火)　11:35～11:45 場　所:へきなん福祉センター　こころっくしんかわ 講　師:高須八重子　(サポプラスタッフ) 参加者:20 名 概　要:　昨年度から始まった、子育て支援施設「こころっくしんかわ」とのコラボレーション企画で、年間 6 回こころっくしんかわを利用されるお母さんとお子さんを対象に、わかりやすい日頃の防災講座を行いました。時間は 10 分程度と短いのですが、日頃の防災・減災を学んでいただきました。	
2．ここタイム　防災スペシャル 日　時:2016 年 7 月 22 日(金)11:35-11:45 場　所:へきなん福祉センター　こころっくしんかわ 講　師:松原　優子　(サポプラスタッフ) 参加者:20 名 概　要:夏休みということもあり、幼稚園や保育園に通う子どもたちも参加してくれました。今回は特別に、小学生の女の子にアシスタントをしてもらいました。 ぼうさいダックで、地震の時のポーズを練習。小さなお友達も自分の頭をしっかり守りました。新聞紙でつくる座布団、牛乳パックでつくる笛、ポリ袋でつくるポンチョを紹介しました。	
3．愛フェス 2016 に参加して地元⊡愛グランプリに出場 日　時:2016 年 9 月 17、18 日(土日) 場　所:愛・地球博記念公園地球市民広場 参加者:18000 名 概　要:今年で 8 回目となる、ファンドレイジングイベント「愛フェス 2016」に碧南から初参加しました。参加4団体が日ごろの活動をアピールブース出展と、ステージパフォーマンスの地元⊡グランプリに出演しました。 松井副市長さんを始め、ひばり会さん、KARIYASHIKI さん、NPO 出展団体さん、サポーターのみなさん、そして碧南から応援に駆けつけて下さったみなさんのおかげで、なんと優勝しました！！	
4．第 2 回へきなん自転車散歩 日　時:2016 年 10 月 30 日(日)9:00～16:00 場　所:碧南市内を巡回 スタート:アイシン精機新川工場駐車場 参加者:90 名＋運営ボランティア 60 名 概　要:とっても爽やかな晴天に恵まれて、へきなんを巡るには絶好な日和でした。第 7 回全国醤油サミットのプレイベントとして、碧南市の醸造業者の蔵を中心にした30㎞のコースを巡	

りました。 たんトピアではとん汁の振舞い、鷲塚では三面大黒の御開帳をして下さりと見どころ、楽しさ、美味しさをいっぱい堪能していただきました。 ゴールではへきなん焼きそばをご賞味いただきました。参加者の皆さんをボランティアスタッフ全員でお迎えし、完走証をお渡しました。	
5．ここタイム　防災スペシャル 日　時:2017 年 1 月 17 日(火)11:35～11:45 場　所:こころっくしんかわ 講　師:松原優子　(サポプラスタッフ) 参加者:20 名 概　要:今回は、おなじみの「ぼうさいダック」に加え、防災クイズをおこないました。ぼうさいダックでは、あひるのイラストと同じように、地震のときにしっかり頭を守るポーズを練習しました。防災クイズでは、おうちの方と一緒に答えを考えました。お水は一人 1 日 3 リットル必要だということ、地震がおきたときにむやみにうちを飛び出してはいけないことなどを学びました。	
6．サポプラ交流会：つなが輪 日　時:2017 年 2 月 4 日(土)13:30～16:00 場　所:へきなん福祉センターあいくる 参加者:15 団体、38 名 概　要:今年は、碧南ファシリテーターズの皆さんにボランティアとして運営に参加していただきました。ボランティアとして楽しんで参加いただくことができました。また、お見合い時間をすこしゆったりととったので、昨年に比べると参加された皆さんしっかりとお話ができていらっしゃいました。告白タイム（フリートーク）では、おいしいお汁粉などを楽しみながら、さらに突っ込んだお話ができたようでした。本日の成果は、当日 2 件とマッチングとなりました。た団体との交流が深まりました。	
7．南海トラフ大地震防災・減災シンポジウム 日　時:2017 年 2 月 11 日(土)13:30～16:30 場　所:へきなん福祉センターあいくる 主　催:NPO法人クリエイティブ･あいち 後　援:サポプラ 講　師:遠藤　学氏（NPO 法人 DoTank みやぎ） 参加者:35 名＋運営協力者 15 名 概　要:震災ドキュメンタリー映画「PRAY FO JAPAN」が上映され、そのあと基調講演を聴きました。そして質疑応答があり、関心の高まった参加者の皆さんからいろいろな質問がありました。東日本大震災から 6 年目を迎えようとしています。被災地を思い起こし、被災地からの学びを活かすためにも、こういった講座・シンポジウムをサポプラが講演し、開催することが必要だと感じました。	

8．防災について考えよう！
～いつか来る、その日のために、
知っておきたいことがある～
日　時:2017 年 2 月 14 日(火)10:00～12:00
場　所:へきなん福祉センターあいくる
講　師:大野裕史（サポプラスタッフ）
参加者:15 名（**安城特別支援学校みどり会さん向け**）

概　要:今回の講座は、安城特別支援学校に碧南市から通っているお子様をお持ちの、13 名の父兄（みどり会）の皆さんを対象とした講座です。あっという間の２時間、参加された皆さんからは、「分かりやすかった」、「何をしたらよいのか分からずに不安だったけど・・・」という声をいただきました。一つ一ついろいろなことを想定（想像）することで、すこしずつ不安が解消していくようです。



9．東日本大震災　パネル展示
日　時:2017 年 3 月 1 日(水)～15 日(水)
場　所:サポプラ掲示コーナー
概　要:未曾有の大災害から 6 年が経ちました。私たちは、東日本大震災での大津波、避難所の現状、復興への道のりを見てきました。「被災地での学びを碧南へ」という想いで開催したこの展示。小さなお子さんの手を引いたお母さん、小中高生、会社員…たくさんの方々にパネルをみていただきました。南海トラフ巨大地震に備え、考え、命を守りましょう。

１０．ここタイム　防災スペシャル
日　時:2017 年 3 月 17 日(火)11:35～11:45
場　所:こころるっくしんかわ
講　師:上田光代（サポプラスタッフ）
参加者:20 名
概　要:おなじみのぼうさいダックと防災クイズをおこないました。ぼうさいダックでは、あひるのイラストと同じように、地震のときにしっかり頭を守るポーズを練習しました。今回はぷーさんを子どもに見立てて一緒に「ダック～」とポーズを取りました。防災クイズでは、おうちの方と一緒に答えを考えました。エレベーターに乗っているとき地震にあった時どうする？地震がおきたときにしてはいけないことは？などを学びました。親子で一緒に防災を考える大切なひと時になって欲しいと願っています。

11．あいぷらミニ講座
●市民の憩いの場
・地域につながりを深めましょう
・世代の交流をしませんか
●ミニ講座開催
・あなたの講座(教室・特技)を開いてみませんか

場　所:碧南市市民活動センターおしゃべりコーナー
日時とテーマ・タイトル:
・10 月 6 日(木)13:30～　太極拳
・10 月 8 日(土)10:00～　整膚
・10 月 15 日(土)10:00～　整膚
・10 月 28 日(金)10:00～　子育て
・11 月 5 日(土)10:00～　整膚
・11 月 10 日(木)10:00～　アロマの寺子屋
・11 月 12 日(土)10:00～　太極拳
・11 月 13 日(日)13:30～　絵を描く会
・11 月 15 日(火)13:30～　太極拳いきいきの会
・11 月 17 日(木)10:00～　おりがみ
・11 月 18 日(金)10:00～　認知症サポーター養成講座
・11 月 25 日(金)10:00～　笑顔で子育て
・11 月 26 日(土)10:00～　太極拳
・11 月 26 日(土)13:00～　言葉で開運講座
・12 月 1 日(木)10:00～　アロマの寺子屋
・12 月 3 日(土) 9:00～　整膚
・12 月 3 日(土)13:00～　言葉で開運講座
・12 月 10 日(土)10:00～　太極拳
・12 月 14 日(水)10:00～　はっぴいスマイル
・12 月 17 日(土)10:00～　あいぷらカフェ
・12 月 18 日(日)13:30～　いつも絵を描く会
・12 月 20 日(火)10:00～　ちぎり絵
・12 月 22 日(木)10:00～　アロマの寺子屋
・12 月 23 日(金)11:00～　ランチ会
・12 月 24 日(土)10:00～　太極拳
・12 月 25 日(日)13:30～　いつも絵を描く会
・1 月 7 日(土)10:00～　整膚
・1 月 7 日(土)10:00～　言葉で開運講座
・1 月 12 日(木)10:00～　ちぎり絵
・1 月 14 日(土)10:00～　太極拳
・1 月 17 日(火)10:00～　保険講座
・1 月 18 日(水)10:30～　笑いヨガ
・1 月 21 日(土)10:00～　言葉で開運講座
・1 月 27 日(金)10:00～　はっぴいスマイル
・1 月 28 日(土)10:00～　太極拳
・2 月 2 日(木)10:00～　アロマの寺小屋
・2 月 11 日(土)10:00～　太極拳
・2 月 12 日(日)13:00～　いつも絵を描く会
・2 月 16 日(木)10:00～　はっぴいスマイル
・2 月 19 日(日)13:00～　いつも絵を描く会
・2 月 22 日(水)10:30～　笑いヨガ
・2 月 25 日(土)10:00～　太極拳
・2 月 26 日(日)13:00～　いつも絵を描く会
・3 月 6 日(月)10:00～　はっぴいスマイル
・3 月 11 日(土)10:00～　太極拳
・3 月 12 日(日)13:00～　いつも絵を描く会
・3 月 16 日(木)10:00～　アロマの寺小屋
・3 月 17 日(金)10:30～　ウッドバーニング
・3 月 19 日(日)13:00～　いつも絵を描く会
・3 月 23 日(木)10:30～　笑いヨガ
・3 月 25 日(土)10:00～　太極拳

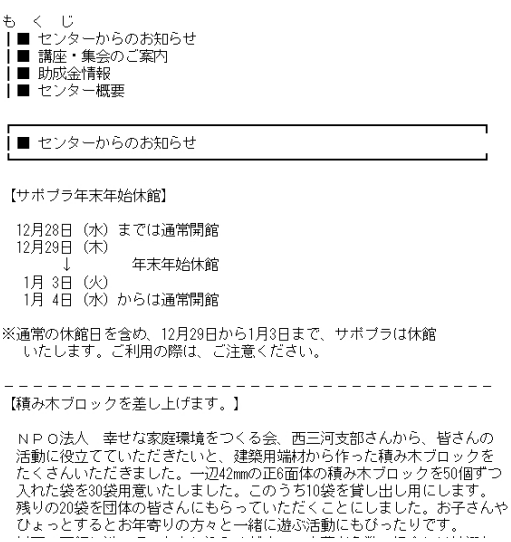
太極拳の様子

2016 年 12 月のミニ講座カレンダー

■メルマガ・サポプラ通信の発行

１．メルマガ発行（毎月発行）

- 2017 年 3 月号　発信数:318 通
- 2017 年 2 月号　発信数:314 通
- 2017 年 1 月号　発信数:313 通
- 2016 年 12 月号　発信数:314 通
- 2016 年 11 月号　発信数:314 通
- 2016 年 12 月号　発信数:314 通
- 2016 年 10 月号　発信数:314 通
- 2016 年 9 月号　発信数:312 通
- 2016 年 8 月臨時増刊号　発信数:312 通
- 2016 年 8 月号　発信数:310 通
- 2016 年 7 月号　発信数:308 通
- 2016 年 6 月号　発信数:306 通
- 2016 年 5 月号　発信数:303 通
- 2016 年 4 月号　発信数:301 通


もくじ
■ センターからのお知らせ
■ 講座・集会のご案内
■ 助成金情報
■ センター概要

■ センターからのお知らせ

【サポプラ年末年始休館】

12月28日（水）までは通常開館
12月29日（木）
↓　　年末年始休館
1月 3日（火）
1月 4日（水）からは通常開館

※通常の休館日を含め、12月29日から1月3日まで、サポプラは休館いたします。ご利用の際は、ご注意ください。

【積み木ブロックを差し上げます。】

ＮＰＯ法人　幸せな家庭環境をつくる会、西三河支部さんから、皆さんの活動に役立てていただきたいと、建築用端材から作った積み木ブロックをたくさんいただきました。一辺42mmの正6面体の積み木ブロックを50個ずつ入れた袋を30袋用意いたしました。このうち10袋を貸し出し用にします。残りの20袋を団体の皆さんにもらっていただくことにしました。お子さんやひょっとするとお年寄りの方々と一緒に遊ぶ活動にもぴったりです。

２．サポプラ通信発行（隔月発行）

- 2017 年 2 月　第 80 号
- 2016 年 12 月　第 79 号
- 2016 年 10 月　第 78 号
- 2016 年 8 月　第 77 号
- 2016 年 6 月　第 76 号
- 2016 年 4 月　第 75 号

サポプラROOM
★ 第2回へきなん自転車散歩 ★
10月30日快晴 165名のボランティア・スタッフが見守る中、90名の参加者のみなさんが、アイシン福祉新川工場駐車場をスタートして、碧南市内30kmを自転車で巡りました。
工場地帯もあれば古いお寺や港もある、大農園から新しい街並みもある、そんな碧南市を自転車でのんびりと巡っていただきたい。そういう思いから始めた自転車散歩、今年は「第7回全国碧海サミットin碧南」が開催されるということもあって、醸造工場や蔵を見学してもらいました。市の端にあるたんトピアでおいしいとん汁で体を温め、矢作川の堤防を走り抜けると、鷲塚にあるお寺へ。源頼朝ではこの日「三面大黒天」を特別に御開帳下さり、他のお寺さんではご住職みずからの案内を聞くことができました。ゴールに戻ると、大勢のボランティアさんに拍手で迎えられ、完走証を受け取り、待ってましたのへきなん焼きそばに舌鼓を打ちました。
参加されたみなさん、自転車散歩を楽しんでいただけましたか？私たちも一緒に楽しみながら、皆さんをお迎えすることができ、とても充実した一日でした。

Ⅳ.まとめ

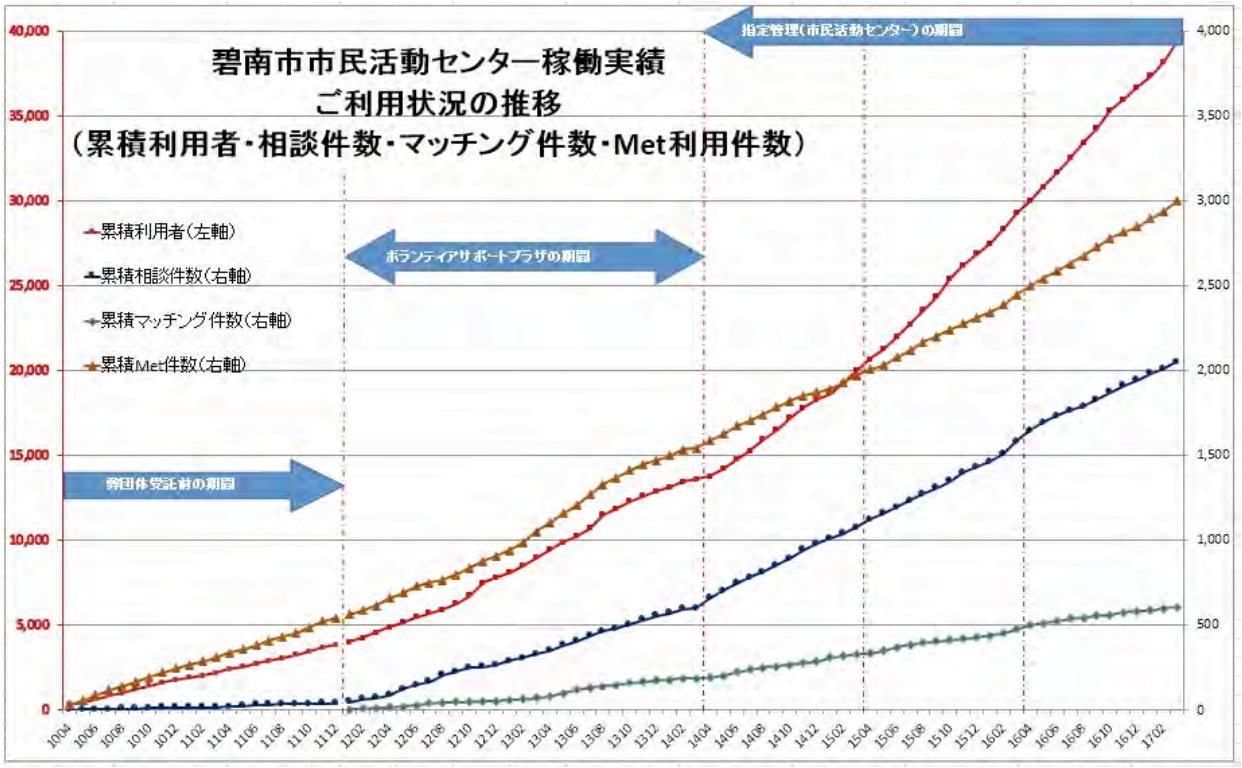
利用者数が10，068名と、1 万人を超えた。目標達成率も108％となった。会議室利用件数は455件と、目標達成率125％を記録した。昨年度は利用者数が伸び悩み、会議室利用が進まなかった。一方、相談件数とマッチング件数は、昨年実績にも及ばなかった。これまでの3年間では、施設の使い方だとかに相談やマッチングの内容が偏っていた。それに比較すると、今年度から相談やマッチングの内容・質が高まってきている。

第 1 四半期にスタートした「参加型まちづくり担い手講座ファシリテーター養成コース」連続講座も無事終了した。特に第4回目は、「まちづくりの好事例から学ぼう　～まちがさらに輝くアクションプランを考える～」と題し、昭和未来会議（知立市）から佐藤浩二さん、刈谷市まちづくりコーディネーター（刈谷市）

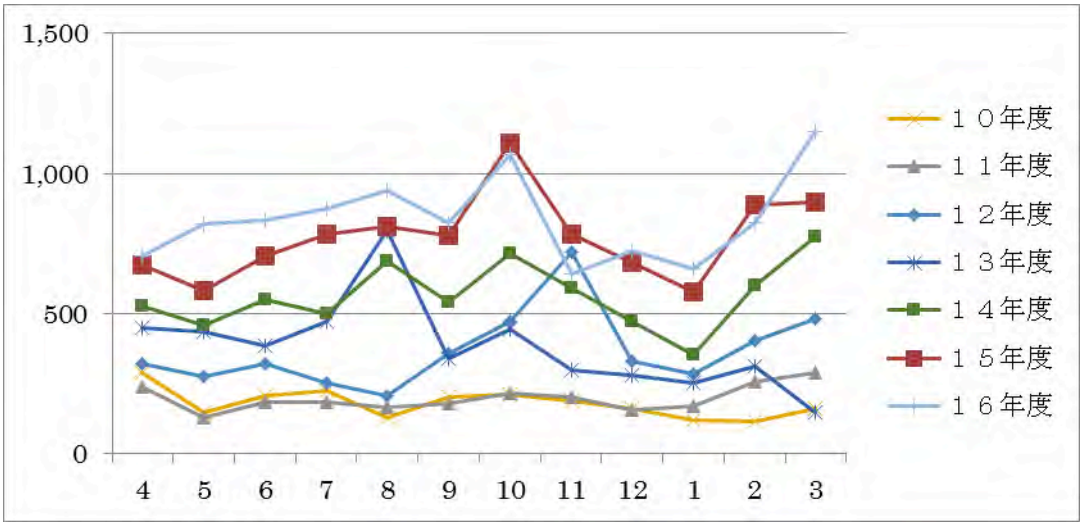
から加藤智子さん、男女共同参画事業（大府市）から鷹羽富美子さん、NPO 法人こども NPO（名古屋市）から青野桐子さんをお迎えし、現在展開しているまちづくり活動事例を学んだ。
会議室利用の促進をさらに進めていくため、社会福祉協議会と協議し、へきなん福祉センターあいくる内の社会福祉協議会の会議室（第 2、第 3 会議室）を、市民活動センターの登録団体に無償で貸出していただけることになった。その結果、これまでサポプラ内に作っていたミーティングスペース（ルームB）のパティションを撤去し、おしゃべりコーナーを拡大することができた。この拡大に伴い、おしゃべりコーナーを「居場所」として活用していただこうと、「あいぷら」のミニ講座を10月からスタートさせた。昨年度から講師に挑戦と銘打って、登録団体の方々に講座の講師に挑戦していただいた。実際に講師の掘り起こしを進めてみると、思った以上に自分たちの活動をアピールしたい団体や個人が多くいらっしゃることが分かった。これらの方々にスポットが当たるように「あいぷらミニ講座」を継続することで、サポプラが居場所としての機能を発揮し、自分ごととしてまちづくり・まちおこしに興味・関心を持つ方々を増やしていくことに貢献していきたいと考えている。
　第2回へきなん自転車散歩を、今年も実行委員会の皆さんのご協力をいただくことができ、成功した。参加者も昨年より倍増し90名の方が、碧南市内を駆け抜けた。また、神谷安城市長をはじめ、安城市役所の方々にもご参加いただいた。来年度は安城市の65周年で、自転車散歩を計画していらっしゃると伺っている。何らかの形で協働できないかと、実行委員の方々と話し合っている。

Ｖ．実績の推移

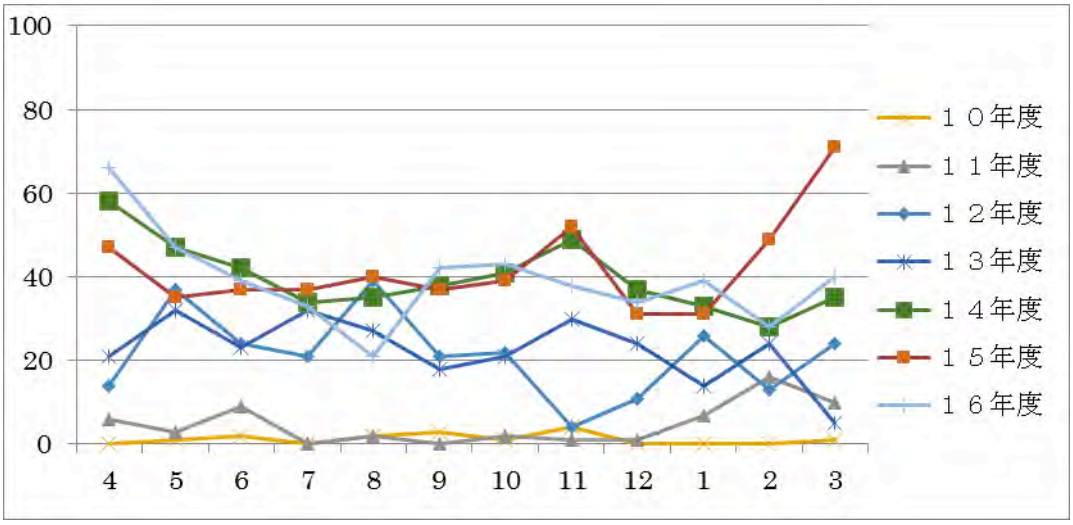
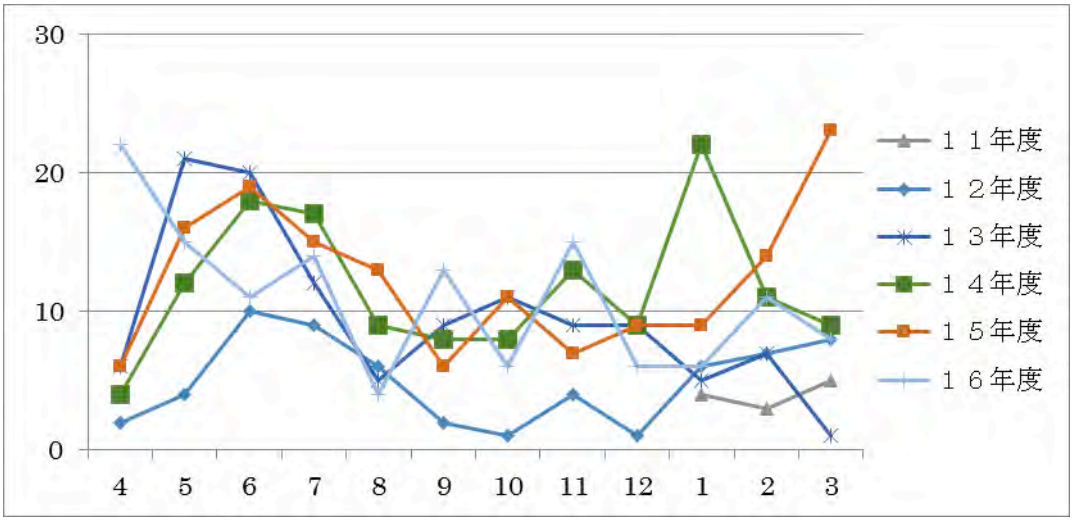
■碧南市市民活動センター稼働実績の推移



■利用者数の月別推移



■相談件数の月別推移



■マッチング件数の月別推移